

## 茂原市新図書館基本計画(案)



令和6年2月

茂原市教育委員会



# 目次

序章 基本計画策定の目的と移転の経緯	1
1. 策定の目的	1
2. 移転の経緯	1
第1章 現図書館の施設・サービス等の現況把握	2
1. 現図書館の施設について	2
2. 現図書館のサービス等について	5
第2章 市民アンケート調査	10
1. 調査概要	10
2. 市内中学校生徒アンケート	11
3. 市内高等学校生徒アンケート	14
4. 一般市民アンケート	17
5. 図書館の Web アンケート	21
第3章 移転先施設の状況	26
1. 「アスモ」の施設概要と来店客数の状況	26
2. 店舗構成と移転先の概要	27
3. イベントについて	31
第4章 必要諸室の検討	32
1. 新図書館の開架・閉架の収蔵可能冊数	32
2. 新図書館の諸室面積	33
3. 新図書館のゾーニング図	34
第5章 新図書館整備への期待	35
第6章 新図書館のサービス方針と重点サービス	36



# 序章 基本計画策定の目的と移転の経緯

## 1. 策定の目的

本市は、市民が気軽に図書館を利用でき、自主的に生涯学習に取り組める環境を整備するため、令和7年春に「茂原ショッピングプラザアスモ」（以下「アスモ」という）内に市立図書館を移転することを予定しています。

平成元年にオープンした「アスモ」は、グルメ・フード、ファッション・グッズ、サービス等の店舗から構成される店舗面積12,393㎡の商業施設であり、650台の無料駐車場も完備しています。

「アスモ」が立地する国道128号沿線は、市民が日用品の買い物先として利用する割合が高く、本市は同沿線を市民のみならず周辺都市の利便性とにぎわいを支える商業・業務・サービス機能を有した沿道型拠点と位置づけ、沿道サービスの機能の維持・充実に向けた環境づくりを推進しています。

本計画は「アスモ」内の新図書館の基本設計と並行して、広く市民の意見を集約した上で、図書館移転の実現に向けて新図書館の整備方針や重点サービスを示すものです。

## 2. 移転の経緯

令和4年4月に「アスモ」を運営する茂原商業開発株式会社から、「アスモ」2階への図書館移転の提案がされ、その後1年以上の協議を経て、令和5年6月に最終提案が出されました。

現図書館はサンヴェルへ移転した平成26年当初から「駐車台数が少ない」等、車での利用者の利便性について多くの意見があり、読書スペースや読み聞かせ部屋など図書館機能の充実にも課題がありました。「アスモ」には650台の無料駐車場があり、移転により施設がリニューアルされることで課題の解消につながります。また、図書館のイベントに「アスモ」が有する「センターコート」や「アスモ劇場」等を利用できるほか、「アスモ」が実施するイベントとの連携により利用者増も期待されます。

最終提案では床借上料が現在よりも年額840万円余り軽減され、新図書館の内装や書棚等の整備費用は「アスモ」側が負担します。また、市が負担する引越費用等の約1億1千万円についても、床借上料が減額されることにより、実質的に15年程度で回収できることとなります。16年目以降は床借上料はさらに軽減され、さらなる財政効果も期待できることから、「アスモ」への移転について、令和5年8月の議員全員協議会において議会への説明を行いました。

今後は令和6年度に予算計上し、令和6年9月議会において条例の一部改正を提出し、令和7年春の移転を目指します。

# 第1章 現図書館の施設・サービス等の現況把握

## 1. 現図書館の施設について

本市の図書館は、昭和29年に旧茂原農業高等学校の校舎を借り受け、公民館の附属施設として設置されました。その後、昭和34年に市立図書館として条例を制定し、昭和48年に市内八千代に新たに図書館を設置し運営してきました。図書館は長きにわたり本市の読書推進拠点として機能してきましたが、建物の老朽化と水害により、平成26年に茂原駅南口再開発ビル「サンヴェル」6階に移転し、現在に至ります。

現図書館には専用駐車場がなく、車で来館する場合、来館者は近くの茂原駅南口公共駐車場に駐車してから図書館を利用します。

表 1 図書館の施設概要

項目	内容
移 転 年	平成 26 年
所 在 地	茂原市千代田町 1 - 6 - 1 茂原駅南口再開発ビル「サンヴェル」 6 階
構 造	鉄筋コンクリート造地下 2 階、地上 7 階建て
延床面積	図書館専有：2,175 m <sup>2</sup> （ビル全体：28,009 m <sup>2</sup> ）
駐 車 場	茂原駅南口公共駐車場（252 台）を利用 （市内在住・在勤・在学の場合 90 分まで無料）

図書館は「サンヴェル」6階のほぼ1フロアを占めていますが、コーナーの配置や広さについて、郷土資料コーナーが一般書架の奥に広いスペースを占めている一方、児童コーナー、おはなし室、ティーンズコーナーは利用傾向の変化に合わせて、スペースを拡充することが望まれます。また、閉架書庫の広さや事務室等の配置についても、検討の余地があります。

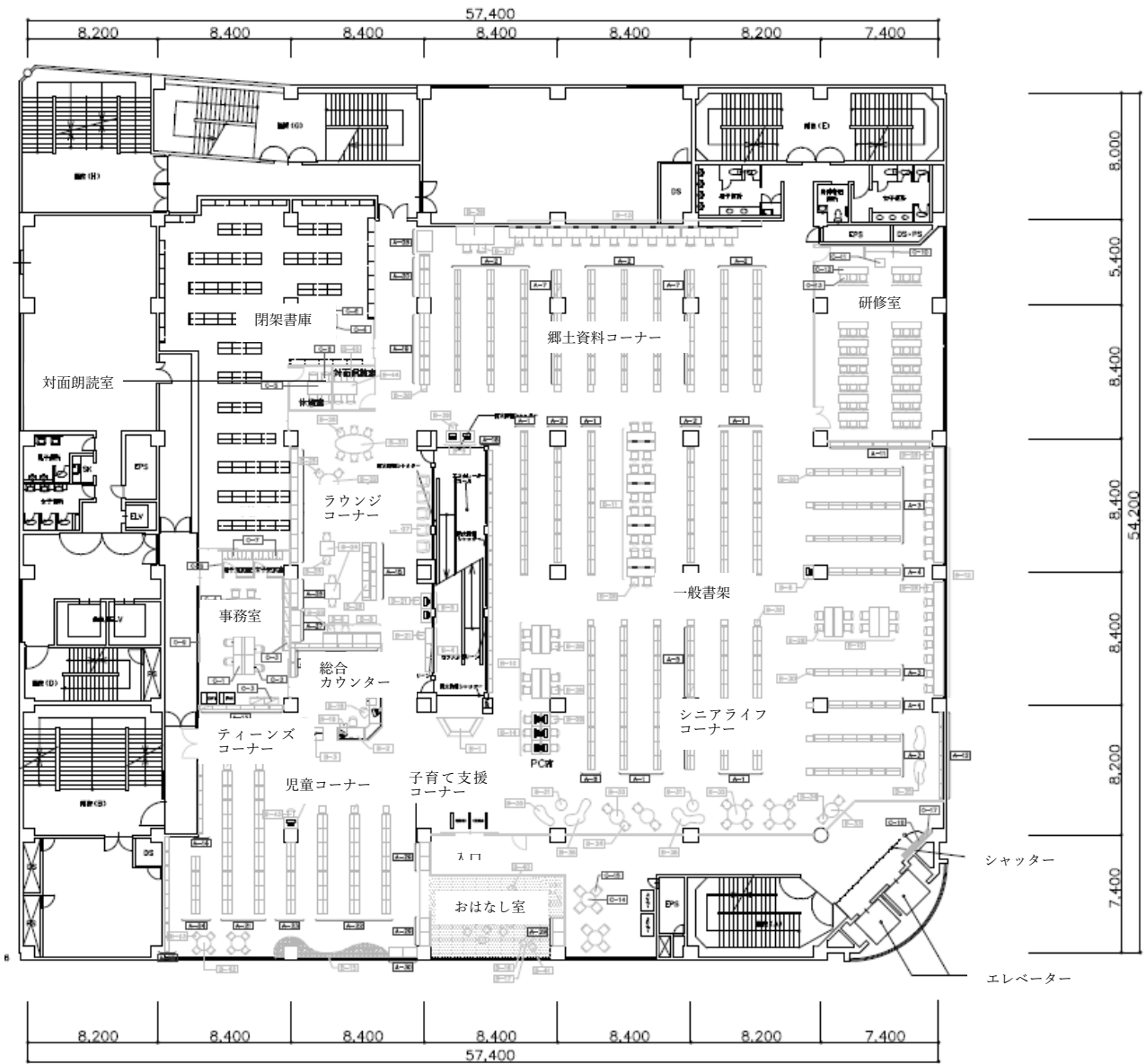
各コーナーの広さや配置に制約がある中、研修室は学習室として、対面朗読室は授乳室として提供する等、幅広い利用者層に対応するための工夫をしています。

閲覧席は165席あり、そのうち120席は学習利用可と位置付けています。また、24席は研修室、20席は児童コーナーに配置していますが、蔵書数の割合に併せて子ども用の座席数やソファ席、個人用閲覧席等を増やし多様な住民ニーズに応えていく必要があります。

図 1 茂原駅南口再開発ビル「サンヴェル」



図 2 図書館のレイアウト



コーナーごとの面積や蔵書数について、一般開架は 1,118.6 m<sup>2</sup>の広さに 96,451 冊の蔵書が配架されており、収蔵可能冊数 81,000 冊を超過しています。一方、児童コーナーは 217.4 m<sup>2</sup>の広さに 22,829 冊、閉架書庫は 196.8 m<sup>2</sup>の広さに 15,052 冊の蔵書が配架されており、特に閉架書庫は一部の書架が老朽化して使用できないため、充足率は 65.8%と当初想定した収蔵可能冊数を下回っています。合計の充足率は 104.5%と収蔵可能冊数を超過しています。

表 2 図書館の面積構成と蔵書数

コーナー等		面積(m <sup>2</sup> )	収蔵可能冊数	蔵書数	充足率	
図書館内	開架書架	一般開架	1,118.6	81,000	96,451	119.1%
		児童コーナー	217.4	24,640	22,829	92.7%
	おはなし室		44.0	—	—	—
	ラウンジコーナー		135.0	—	—	—
	研修室		105.8	—	—	—
	対面朗読室		7.5	—	—	—
	総合カウンター		37.1	—	—	—
	事務室・更衣室・休憩室		65.3	—	—	—
	閉架書庫		196.8	22,880	15,052	65.8%
	小計		1,927.5	—	—	—
図書館外通路・WC等		247.5	—	—	—	
合計		2,175.0	128,520	134,332	104.5%	

※「収蔵可能冊数」は書架メーカーが設定している本の収容冊数の目安をもとに、1棚の寸法を900mmと設定し、以下の冊数で計算

開架書架：一般書 40冊/1棚 児童書 50冊/1棚 紙芝居 70冊/1棚 大型絵本 20冊/1棚

郷土資料 35冊/1棚 大型本 25冊/1棚

閉架書庫：一律 40冊/1棚



## 2. 現図書館のサービス等について

### (1) 資料の状況

#### 1) 所蔵資料の推移

令和4年度末の蔵書数は約13.4万冊で、そのうち雑誌を除いた図書・視聴覚資料の合計は約12.8万冊となっています。さらに、図書・視聴覚資料のうち、一般書が約7.1万冊、児童書が約1.7万冊、ティーンズが約0.2万冊、絵本が約0.8万冊、紙芝居が約0.1万冊となっています。児童書・絵本・紙芝居のうち約300冊は団体貸出用となっています。

過去5年間の推移では、蔵書数は年によって増減があるものの約13.2万冊から約14.0万冊の間を推移しています。資料種別ごとの指数を比較すると、令和2年度に外部書庫に保管していた雑誌（一般）を約7,700冊除籍し減となっている一方、ティーンズが最も増加しており、次いで雑誌（児童）、絵本、児童書となっており、ティーンズや児童書の収集に重点を置いています。

表3 過去5年間の蔵書数の推移

種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	冊数	構成比	指数	冊数	構成比	指数	冊数	構成比	指数	冊数	構成比	指数	冊数	構成比	指数
一般書	70,539	50.1%	1.00	66,065	48.0%	0.94	68,304	51.7%	0.97	70,704	53.2%	1.00	71,042	52.9%	1.01
児童書	15,354	10.9%	1.00	15,680	11.4%	1.02	15,953	12.1%	1.04	16,446	12.4%	1.07	16,744	12.5%	1.09
ティーンズ	1,528	1.1%	1.00	1,572	1.1%	1.03	1,706	1.3%	1.12	1,846	1.4%	1.21	1,902	1.4%	1.24
絵本	6,832	4.9%	1.00	7,004	5.1%	1.03	7,168	5.4%	1.05	7,393	5.6%	1.08	7,543	5.6%	1.10
紙芝居	792	0.6%	1.00	802	0.6%	1.01	812	0.6%	1.03	825	0.6%	1.04	833	0.6%	1.05
郷土資料	19,427	13.8%	1.00	19,439	14.1%	1.00	19,528	14.8%	1.01	17,289	13.0%	0.89	17,419	13.0%	0.90
参考資料	8,119	5.8%	1.00	8,190	6.0%	1.01	7,586	5.7%	0.93	7,650	5.8%	0.94	7,672	5.7%	0.94
視聴覚資料	4,305	3.1%	1.00	4,404	3.2%	1.02	4,472	3.4%	1.04	4,531	3.4%	1.05	4,594	3.4%	1.07
小計	126,896	90.1%	1.00	123,156	89.5%	0.97	125,529	94.9%	0.99	126,684	95.3%	1.00	127,749	95.1%	1.01
雑誌(一般)	11,265	8.0%	1.00	11,686	8.5%	1.04	3,925	3.0%	0.35	3,468	2.6%	0.31	3,685	2.7%	0.33
雑誌(児童)	2,620	1.9%	1.00	2,727	2.0%	1.04	2,788	2.1%	1.06	2,790	2.1%	1.06	2,898	2.2%	1.11
小計	13,885	9.9%	1.00	14,413	10.5%	1.04	6,713	5.1%	0.48	6,258	4.7%	0.45	6,583	4.9%	0.47
合計	140,781	100.0%	1.00	137,569	100.0%	0.98	132,242	100.0%	0.94	132,942	100.0%	0.94	134,332	100.0%	0.95

※「茂原市立図書館指定管理業務報告書」をもとに作成

#### 2) 受入・除籍の推移

過去5年間の受入・除籍数について、資料は毎年約4,000冊を購入しており、寄贈と合わせて約5,000冊を受け入れています。令和元年度と2年度は外部書庫を閉鎖するため、外部書庫にあった蔵書を除籍していますが、それ以外は毎年計画的な除籍によって古い本と新しい資料を入れ替えるようにしています。

表4 過去5年間の受入・除籍数の推移

種別		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数	冊数	指数
受入	購入	4,000	1.00	3,982	1.00	4,361	1.09	4,239	1.06	3,965	0.99
	寄贈	831	1.00	675	0.81	844	1.02	811	0.98	624	0.75
	小計	4,831	1.00	4,657	0.96	5,205	1.08	5,050	1.05	4,589	0.95
除籍		2,368	1.00	7,362	3.11	10,367	4.38	4,208	1.78	2,975	1.26
差引合計		2,463	1.00	-2,705	-1.10	-5,162	-2.10	842	0.34	1,614	0.66

※「茂原市立図書館指定管理業務報告書」をもとに作成

## (2)サービスの状況

### 1) 基本サービス

年末年始、特別整理期間を除き通年で午前 10 時から午後 7 時まで開館し、紙媒体資料は本市在住以外でも長生郡、市原市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町在住の方へ貸出を行っています。

図書館への来館が難しい市民へのサービスとして令和 3 年度から電子図書館を開設し、本市に在住・在勤・在学の方へ電子書籍の貸出を行っています。

表 5 サービス概要

項目		条件
開館時間等	開館時間	● 午前 10 時～午後 7 時
	休館日	● 年末年始、特別整理期間
紙媒体資料の利用条件	利用対象者	● 茂原市に在住・在勤・在学の人 ● 長生郡、市原市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町に在住の人
	利用可能点数・期間	● 茂原市に在住・在勤・在学の人：10 点まで 2 週間 ● 長生郡、市原市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町に在住の人：5 点まで 2 週間
	視聴覚資料の利用可能点数・期間	● 資料に含み 3 点まで（そのうち DVD は 1 点まで）
	予約サービス	● 5 点まで
	団体貸出サービス	● 市内の各種機関または団体で、資料 100 点まで 1 ヶ月間
電子書籍利用条件	利用可能点数	● 9,930 点（令和 4 年度末）
	利用対象者	● 茂原市に在住・在勤・在学の人
	利用可能点数・期間	● 3 点まで 2 週間
	予約サービス	● 2 点まで
館内の禁止事項		● 館内の飲食 ● 携帯電話・スマートフォンの使用

### 2) 自主事業

令和 4 年度に実施した自主事業は、乳幼児から小学生までを対象とした事業が全体の約半数を占めており、そのうち「おはなし会」、交流会、託児、プレゼント、展示、講座の開催頻度が多くなっています。

また、大人を対象とした自主事業は、講演・映画等、講座の開催頻度が多くなっています。

表 6 自主事業の状況(令和 4 年度)

種別	事業名	対象者	開催頻度	事業内容
おはなし会	赤ちゃんといっしょのおはなし会	0～2歳児と保護者	月1回	絵本の読み聞かせとわらべ歌によるおはなし会
	おはなし会	3歳児と保護者	月3回	絵本・紙芝居の読み聞かせ
	出張おはなし会	小学校	随時	小学校に向いておはなし会を実施
	大人のためのおはなし会	一般	年1回	図書館スタッフやボランティアによる、大人向けのすばなしや読み聞かせ
	大人のための朗読会	一般	年1回	「綾・紋の会」による朗読会。後日動画も配信
交流会	こどもコンシェルジュ	未就学児と保護者	年2回	手遊びうた等による未就学児と保護者、プレママ、プレパパの交流会
	冬のおたのしみ会	幼児～小学生	年1回	大型絵本の読み聞かせ、映画上映、手遊びを実施し、手作りのクリスマスプレゼントを子どもに手渡し
	こども読書の日クイズ&スタンプラリー	小学生以下	年1回	児童コーナーに図書館クイズを複数箇所設置し、子どもたちはクイズに回答しながら巡回し、色々な資料に触れる機会を提供
	ぬいぐるみおとまり会	児童	年1回	参加者が持参したぬいぐるみを図書館で一晩預かり、読書等の様子を撮影、フォトブックを作成し子どもにプレゼント
託児	ショート託児	未就学児と保護者	月3～4回	50分毎入替制で保育士が未就学児を1時間預かり、保護者にゆっくりと本を選んでもらう
プレゼント	ブックスタート	乳児と保護者	月1回	6カ月児の健康相談会場（保健センター）で、メッセージを添えてブックスタートパック（絵本1冊等）を手渡し
	セカンドブック	3歳児と保護者	通年	3歳児健康診査を受診した児童と保護者に、図書館で絵本を1冊手渡し、読書相談を受付
	クリスマスプレゼント	幼児～小学生	年1回	冬のおたのしみ会の代案として、12月中に本を借りた子どもへ手作りのクリスマスプレゼントを手渡し
展示	父母の日似顔絵展	児童	年1回	子どもが描いたお父さん・お母さんの似顔絵を入口前壁面に展示
	七夕飾り工作	児童	年1回	図書館内に設置した七夕の笹に、子どもたちに飾り付けをしてもらう
見学・体験	こども図書館員	小学生	年2回	子どもたちにカウンター業務、図書装備などを体験してもらう
	社会科見学の受入れ	小学生	随時	小学生の図書館見学を受入
	職場体験学習の受入れ	中学生・高校生・大学生	随時	図書館の仕事を全般的に体験してもらう
	体験研修	教員	随時	教員の10年経験者研修の一環としての図書館の仕事を体験してもらう
読書推進	読書手帳	小学生	通年	小学生に読書記録を記入する手帳を配布
	ティーンズポスト	中学生・高校生	通年	ティーンズからイラスト、メッセージ、お薦め本を募集し、ティーンズ通信や館内で紹介
	私がすすめる1冊	一般	年1回	参加者のお薦め本を館内で紹介
講演・映画等	こども映画会	3歳児と保護者	月1回	子ども向け映画の上映
	大人のための映画会	一般	年2回	大人向け映画上映会「裸の大将放浪記」「ここは今から倫理です。」
	バリアフリー映画会	障がい者	年1回	音声ガイドと日本語字幕付きの映画上映会「長いお別れ」
	講演会	一般	年1回	WAVE出版の玉腰直人社長、ジャーナリストの猪谷千香氏の講演
	落語会	一般	年1回	月の家小圓鏡師匠他、演者を招聘し、総合市民センターで落語会を開催
講座	絵手紙教室	児童・一般	年1回	講師による絵手紙制作の講座
	マイ図書バッグの制作	児童・一般	年1回	布バッグにクレヨンで絵を描き、オリジナル図書バッグを作る講座
	キリングループ×環境マークプログラム	児童	年1回	子どもたちに身の回りの環境マークを探してもらい、リサイクルや環境について学んでもらう講座
	おはなし会ボランティア養成講座（中級コース）	一般	隔月1回	すでにボランティア活動をしている人のための中級研修の講座
	大人のための塗り絵教室	一般	年1回	講師による塗り絵の講座
	認知症予防セミナー回想サロン	一般	年2回	昔の新聞記事・映像で脳のトレーニングをしてもらう講座
	小学生向け図書館だよりの発行	小学生	年3回	小学校低・中・高学年向けに小学校へ配布
広報	ティーンズ通信の発行	中学生・高校生	年2回	ティーンズコーナーの紹介やお薦め本を記載し来館者に配布
	図書館だよりの発行	一般	月1回	図書館からのお知らせを作成し配布

※黄色のセルは小学生以下対象

### (3)利用の状況

#### 1) 来館者数

コロナ禍以前の平成30年度の来館者数は年間約18.6万人でしたが、コロナ禍の令和2年度は約5.2万人まで減少し、令和4年度は回復傾向にあるものの約9.1万人に留まっています。1日あたりの来館者数も平成30年度は532人でしたが、令和4年度は平成30年度の5割程度の262人となっています。

表7 過去5年間の来館者数の状況

種別	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数
開館日数(日)	349	1.00	344	0.99	288	0.83	349	1.00	349	1.00
来館者数(人)	185,547	1.00	148,761	0.80	52,206	0.28	79,751	0.43	91,440	0.49
1日あたり来館者数(人)	532	1.00	432	0.81	181	0.34	229	0.43	262	0.49

#### 2) 貸出冊数・貸出者数

コロナ禍以前の平成30年度の貸出冊数は年間約17万冊、貸出者数は年間約5.4万人でしたが、コロナ禍の令和2年度に約8.9万冊、約3万人まで減少しています。令和3年度から回復傾向にあります。令和4年度は約12.5万冊、約4.4万人となっており、平成30年度と比較して、貸出冊数で7割程度、貸出者数で8割程度となっています。

貸出冊数の資料種別構成比は、一般書の割合が6割程度と最も多く、次いで絵本、児童書となっています。過去5年間の推移では、合計は減少しているものの、参考資料と雑誌(児童)は増加しており、ティーンズは減少しているものの、他の資料種別と比較して減少幅が小さくなっています。

表8 過去5年間の貸出冊数・貸出者数の推移

種別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			
	実績値	構成比	指数	実績値	構成比	指数	実績値	構成比	指数	実績値	構成比	指数	実績値	構成比	指数	
開館日数(日)	349	-	1.00	344	-	0.99	288	-	0.83	349	-	1.00	349	-	1.00	
貸出冊数(冊)	一般書	107,041	63.0%	1.00	90,333	61.9%	0.84	57,180	64.2%	0.53	76,132	60.6%	0.71	77,447	62.0%	0.72
	児童書	18,311	10.8%	1.00	15,781	10.8%	0.86	8,624	9.7%	0.47	13,588	10.8%	0.74	12,562	10.1%	0.69
	ティーンズ	5,176	3.0%	1.00	5,343	3.7%	1.03	3,599	4.0%	0.70	4,637	3.7%	0.90	4,932	3.9%	0.95
	絵本	21,475	12.6%	1.00	18,245	12.5%	0.85	9,228	10.4%	0.43	17,056	13.6%	0.79	16,063	12.9%	0.75
	紙芝居	2,022	1.2%	1.00	1,847	1.3%	0.91	1,029	1.2%	0.51	1,394	1.1%	0.69	1,528	1.2%	0.76
	郷土資料	183	0.1%	1.00	113	0.1%	0.62	56	0.1%	0.31	64	0.1%	0.35	93	0.1%	0.51
	参考資料	2	0.0%	1.00	2	0.0%	1.00	0	0.0%	0.00	8	0.0%	4.00	4	0.0%	2.00
	視聴覚資料	7,529	4.4%	1.00	6,195	4.2%	0.82	3,933	4.4%	0.52	4,967	4.0%	0.66	4,411	3.5%	0.59
	小計	161,739	95.1%	1.00	137,859	94.5%	0.85	83,649	93.9%	0.52	117,846	93.9%	0.73	117,040	93.7%	0.72
	雑誌(一般)	7,517	4.4%	1.00	6,973	4.8%	0.93	4,468	5.0%	0.59	5,999	4.8%	0.80	5,357	4.3%	0.71
	雑誌(児童)	743	0.4%	1.00	1,095	0.8%	1.47	987	1.1%	1.33	1,713	1.4%	2.31	2,519	2.0%	3.39
	小計	8,260	4.9%	1.00	8,068	5.5%	0.98	5,455	6.1%	0.66	7,712	6.1%	0.93	7,876	6.3%	0.95
	合計	169,999	100.0%	1.00	145,927	100.0%	0.86	89,104	100.0%	0.52	125,558	100.0%	0.74	124,916	100.0%	0.73
	1日あたりの貸出冊数	487	-	1.00	424	-	0.87	309	-	0.64	360	-	0.74	358	-	0.73
貸出者数(人)	年間貸出者数	53,800	-	1.00	48,266	-	0.90	29,796	-	0.55	42,323	-	0.79	44,214	-	0.82
	1日あたりの貸出者数	154	-	1.00	140	-	0.91	103	-	0.67	121	-	0.79	127	-	0.82

### 3) 団体貸出数

市内の小学校 12 校、中学校 6 校に学校支援として団体貸出をしています。学校の統廃合により学校数が減少しているため、貸出は件数、冊数とも過去 5 年間は減少傾向にありますが、令和 3 年度はコロナ禍で校外学習が制限され、本を使った学習が増えたため、一時的に増加となっています。

表 9 過去5年間の団体貸出の状況

項目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数
件数	183	1.00	155	0.85	130	0.71	203	1.11	107	0.58
冊数	2,305	1.00	2,141	0.93	1,669	0.72	2,440	1.06	1,442	0.63

### 4) 自主事業の参加者数

過去 5 年間の主な自主事業の実施回数・参加者数はコロナ禍の影響を受けて大きく変化しており、特に令和 2 年度と 3 年度は、参加者数が多い「おはなし会」や「映画会」等を中止にせざるをえない状況がありました。令和 4 年度の各事業の開催回数はコロナ禍前に戻りつつありますが、平成 30 年度と比べた参加者数の指数は 3 歳児以上と保護者を対象とした「おはなし会」が 0.61、「ショート託児」が 0.63、「こども映画会・おとなのための映画会」が 0.63 等、まだ元の水準に戻っていない状況となっています。

令和 4 年度の実績でみると、実施回数・参加者数が多い事業は「おはなし会」35 回 198 人、「ショート託児」36 回 197 人、6 ヶ月児と保護者に絵本等を渡す「ブックスタート」12 回 386 組、「こども映画会」11 回 93 人等、乳幼児やこども向けの事業となっています。また、「こども読書の日スタンプラリー」は 1 回の開催で 60 人の参加者数があり、回数あたりでは参加者数が最も多い事業となっています。

大人向けの事業に関しては、「おとなのための映画会」2 回 44 人、「落語会」1 回 41 人、「バリアフリー映画会」1 回 44 人が比較的参加者数が多くなっています。

表 10 過去 5 年間の主な自主事業の参加者数

種別	事業名	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		実施回数 (回)	参加人数 (人)	参加者 数指数	実施回数 (回)	参加人数 (人)	参加者 数指数	実施回数 (回)	参加人数 (人)	参加者 数指数	実施回数 (回)	参加人数 (人)	参加者 数指数	実施回数 (回)	参加人数 (人)	参加者 数指数
おはなし会	赤ちゃんといっしょのおはなし会	22	130組	1.00	10	78組	0.60	-	-	-	-	-	-	12	68組	0.52
	おはなし会	35	323	1.00	31	260	0.80	4	11	0.03	35	104	0.32	35	198	0.61
交流会	こどもコンシェルジュ	4	20組	1.00	4	10組	0.50	-	-	-	-	-	-	2	10組	0.50
	冬のおたのしみ会	1	43	1.00	1	30	0.70	-	-	-	-	-	-	1	24	0.56
	こども読書の日スタンプラリー	1	70	1.00	1	70	1.00	-	-	-	1	36	0.51	1	60	0.86
	ぬいぐるみおとまり会	1	16	1.00	1	15	0.94	1	10	0.63	1	11	0.69	1	21	1.31
託児	ショート託児	34	313	1.00	31	204	0.65	-	-	-	11	29	0.09	36	197	0.63
プレゼント	ブックスタート	12	483組	1.00	11	418組	0.87	10	446組	0.92	12	369組	0.76	12	386組	0.80
	セカンドブック	通年	220	1.00	通年	201	0.91	通年	139	0.63	通年	205	0.93	通年	158	0.72
展示	父母の日似顔絵展	1	61	1.00	1	29	0.48	-	-	-	1	29	0.48	1	20	0.33
	こども映画会	11	148	1.00	10	125	0.84	-	-	-	11	52	0.35	11	93	0.63
講演・映画等	大人のための映画会	2	70	1.00	2	51	0.73	-	-	-	-	-	-	2	44	0.63
	バリアフリー映画会	1	42	1.00	1	39	0.93	-	-	-	-	-	-	1	44	1.05
	落語会	-	-	-	-	-	-	1	42	-	-	-	-	1	41	-
読書推進	読書手帳	通年	295	1.00	通年	478	1.62	通年	97	0.33	通年	122	0.41	通年	126	0.43

## 第2章 市民アンケート調査

### 1. 調査概要

現図書館の市民の利用状況や新図書館について市民が望むことを把握するため、市内中学校生徒アンケート、市内高等学校生徒アンケート、一般市民アンケートを実施し、3,793件の回答を得ました。

さらに令和5年8月から9月に図書館で実施したWebアンケート結果から、市立図書館の利用状況や、どうすれば市立図書館を利用するか等の回答を抜粋して整理しました。

表 11 市民アンケート調査概要

項目	調査名	調査対象	調査期間	回収数	内容
今回のアンケート	市内中学校生徒アンケート	市内中学校 6校の生徒	令和5年 11月20日(月) ～11月30日 (木)	1,711	①属性(学校名・学年・年齢) ②市立図書館の利用状況 (ア)利用有無 (イ)利用しない理由 ③新図書館への要望 (ア)期待する過ごし方 (イ)期待するスペース・コーナー (ウ)期待するサービス
	市内高等学校生徒アンケート	市内高等学校 4校の生徒		1,546	
	一般市民アンケート	制限なし		536	
	小計			3,793	
図書館アンケート	図書館のWebアンケート	制限なし	令和5年 8月28日(月) ～9月27日 (水)	82	①属性(性別・年齢) ②市立図書館の利用状況 (ア)利用有無 (イ)利用しない理由 (ウ)利用目的 (エ)利用する理由 (オ)利用しない理由 (カ)どうすれば利用するか (キ)充実してほしい資料 ③電子図書館について (ア)利用有無 (イ)利用する理由 (ウ)どうすれば利用するか
合計				3,875	



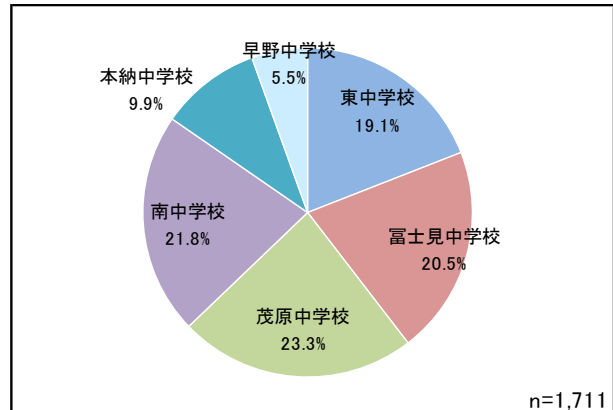
## 2. 市内中学校生徒アンケート

### (1) 回答者の属性

回答者は合計 1,711 人で、令和 5 年 5 月 1 日現在の全生徒数 1,966 人の約 87% となっており、学校別構成比は各学校の在校生徒数に比例しています。

図 3 回答者の学校別構成比(単数回答)

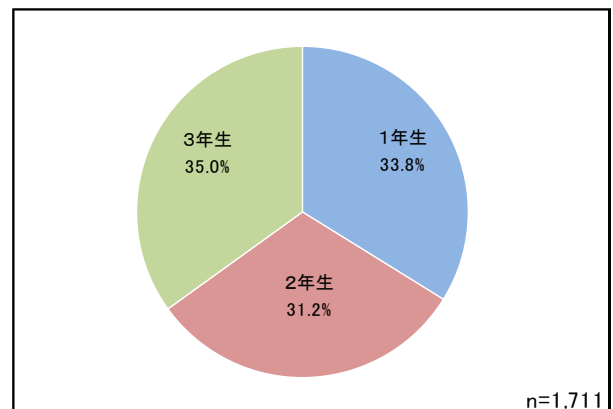
項目	人数	構成比
東中学校	326	19.1%
富士見中学校	351	20.5%
茂原中学校	398	23.3%
南中学校	373	21.8%
本納中学校	169	9.9%
早野中学校	94	5.5%
合計	1,711	100.0%



回答者の学年別構成比は学年ごとにほぼ同じ比率となっています。

図 4 回答者の学年別構成比(単数回答)

項目	人数	構成比
1年生	579	33.8%
2年生	534	31.2%
3年生	598	35.0%
合計	1,711	100.0%

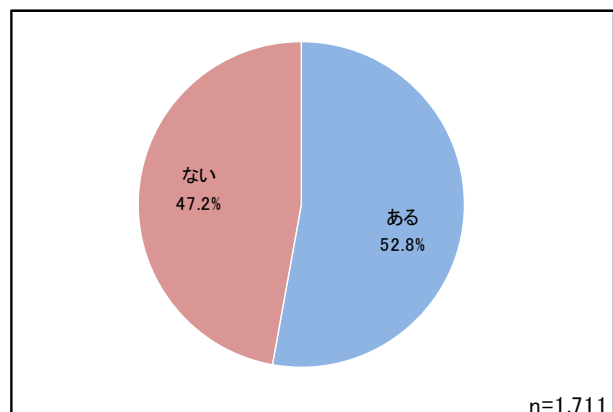


### (2) 市立図書館の利用状況

過去 5 年以内の市立図書館の利用有無は「ある」(52.8%) が「ない」(47.2%) を若干上回っています。

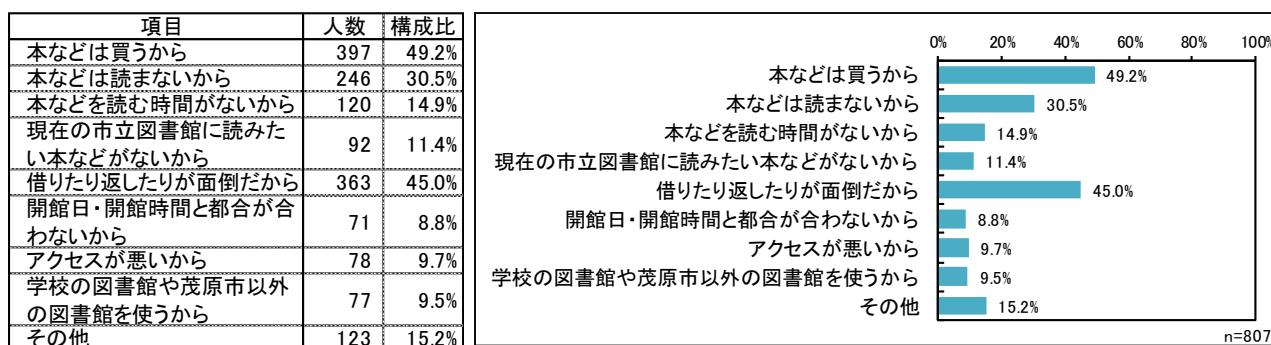
図 5 過去 5 年以内の市立図書館の利用有無(単数回答)

項目	人数	構成比
ある	904	52.8%
ない	807	47.2%
合計	1,711	100.0%



(2)で「ない」と回答した生徒が市立図書館を利用しない主な理由は「本などは買うから」(49.2%)が最も多く、次いで「借りたり返したりが面倒だから」(45.0%)、「本などは読まないから」(30.5%)となっており、市立図書館を利用しない生徒のうち7割程度は読書習慣があることが分かります。

図 6 市立図書館を利用しない主な理由(複数回答可)

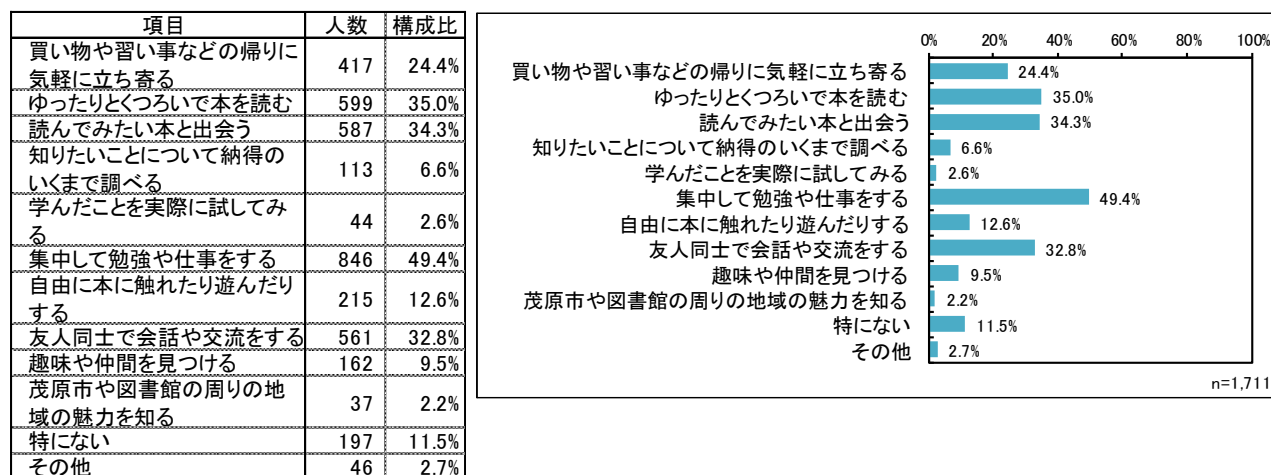


### (3)新図書館への要望

#### 1) 期待する過ごし方

新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいかに関しては、「集中して勉強や仕事をする」(49.4%)が最も多く、次いで「ゆったりとくつろいで本を読む」(35.0%)、「読んでみたい本と出会う」(34.3%)、「友人同士で会話や交流をする」(32.8%)となっており、読書や勉強ができる環境、本との出会い、友人との会話や交流を求める生徒が多くなっています。

図 7 新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいか(3 つまで選択可)

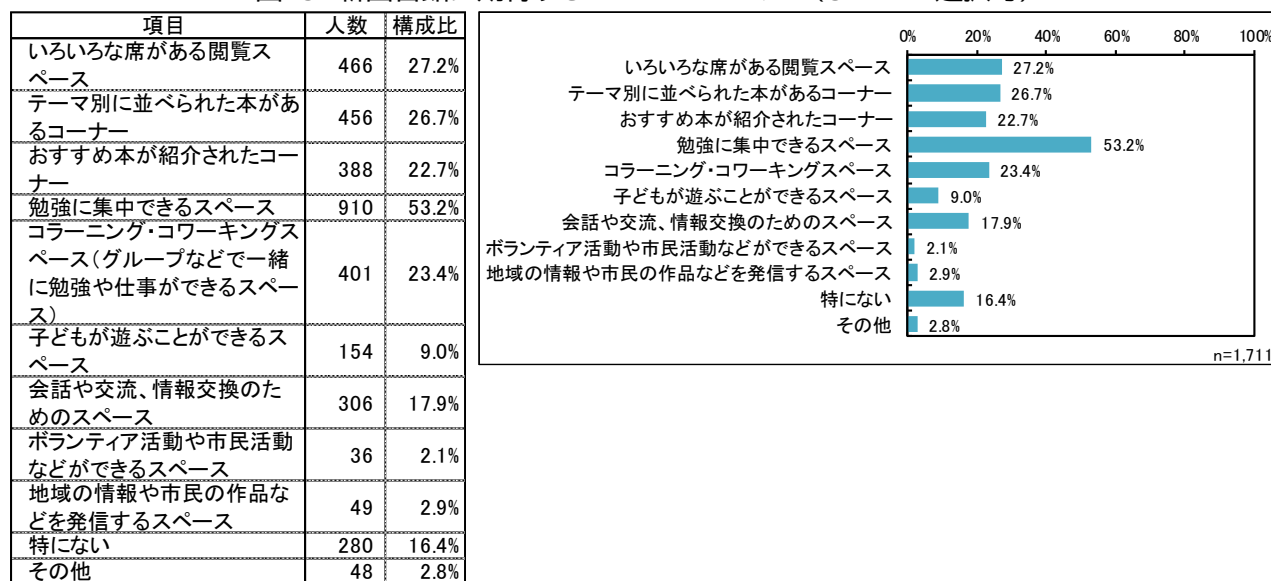




## 2) 期待するスペース・コーナー

新図書館に期待するスペース・コーナーは「勉強に集中できるスペース」(53.2%)が最も多く、次いで「いろいろな席がある閲覧スペース」(27.2%)、「テーマ別に並べられた本があるコーナー」(26.7%)となっており、どのような過ごし方ができれば利用したいかと同様に、読書や勉強ができたり、本に出会えるスペース・コーナーを期待する生徒が多くなっています。

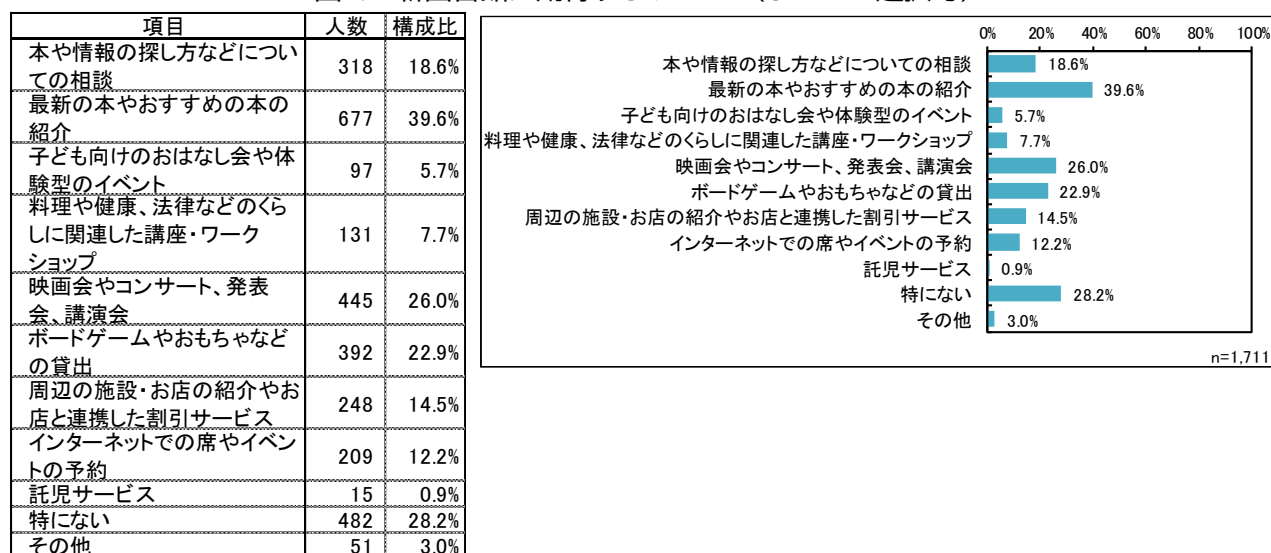
図 8 新図書館に期待するスペース・コーナー(3 つまで選択可)



## 3) 期待するサービス

新図書館に期待するサービスは「最新の本やおすすめの本の紹介」(39.6%)が最も多く、次いで「映画会やコンサート、発表会、講演会」(26.0%)、「ボードゲームやおもちゃなどの貸出」(22.9%)となっており、本、映画、音楽等に関する様々なサービスや情報を期待しています。

図 9 新図書館に期待するサービス(3 つまで選択可)

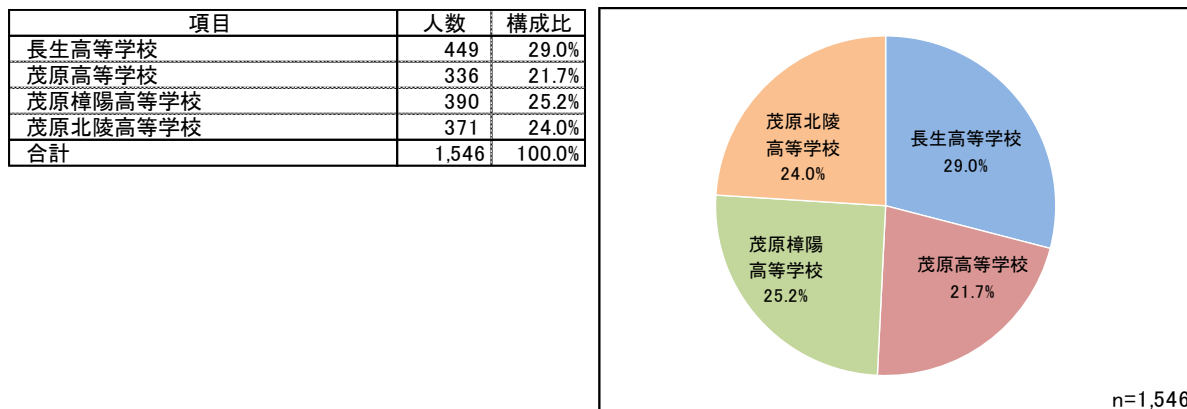


### 3. 市内高等学校生徒アンケート

#### (1) 回答者の属性

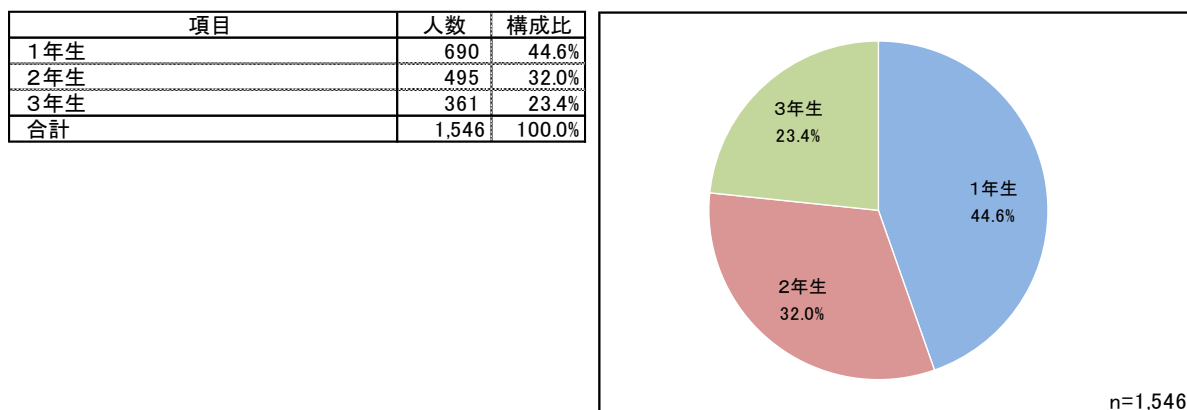
回答者は合計 1,546 人で、令和 5 年 11 月 1 日現在の全生徒数 2,380 人の約 65% となっています。

図 10 回答者の学校別構成比(単数回答)



回答者の学年別構成比は 1 年生 (44.6%) が最も多く、次いで 2 年生 (32.0%) となっています。

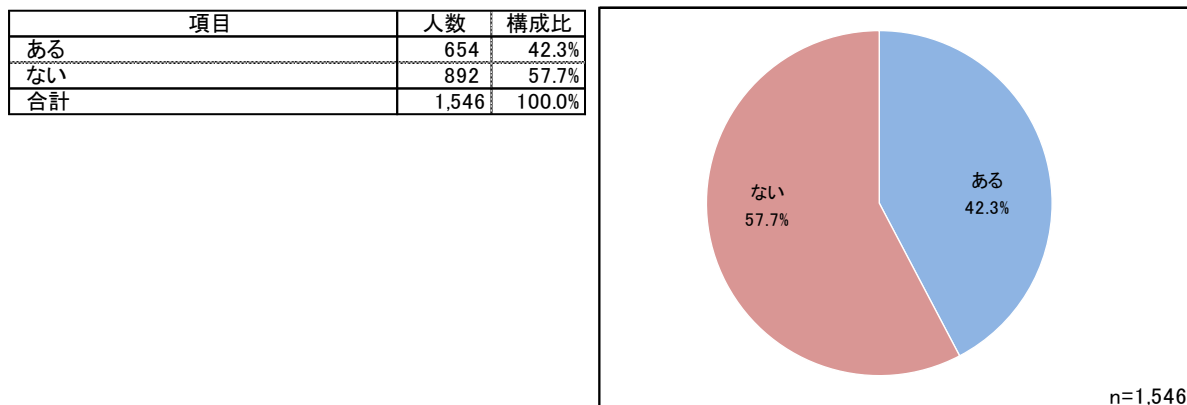
図 11 回答者の学年別構成比(単数回答)



#### (2) 市立図書館の利用状況

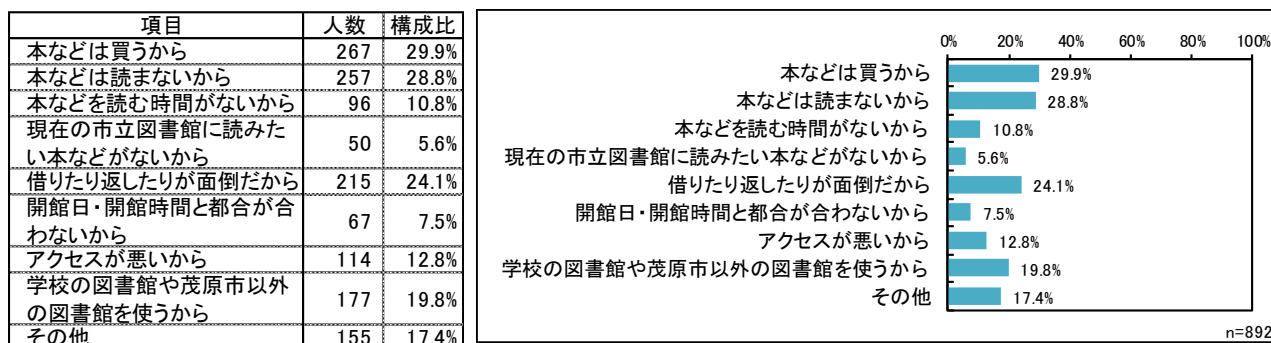
過去 5 年以内の市立図書館の利用有無は「ない」 (57.7%) が「ある」 (42.3%) を上回っています。

図 12 過去 5 年以内の市立図書館の利用有無(単数回答)



(2)で「ない」と回答した生徒が市立図書館を利用しない主な理由は「本などは買うから」(29.9%)が最も多く、次いで「本などは読まないから」(28.8%)、「借りたり返したりが面倒だから」(24.1%)となっており、市立図書館を利用しない生徒のうち7割程度は読書習慣があることが分かります。

図 13 市立図書館を利用しない主な理由(複数回答可)

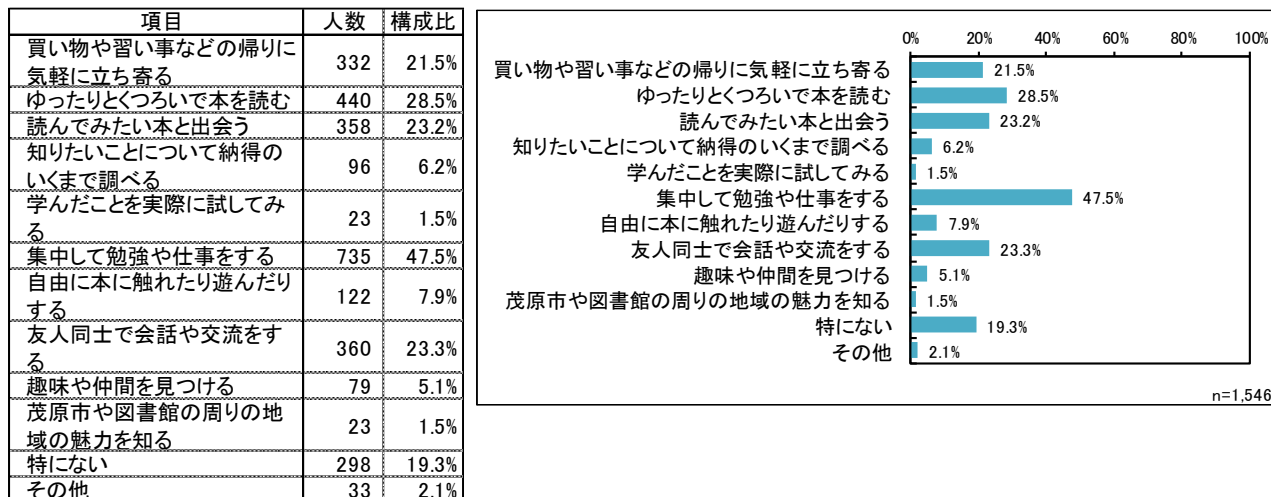


### (3)新図書館への要望

#### 1) 期待する過ごし方

新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいかに関しては、「集中して勉強や仕事をする」(47.5%)が最も多く、次いで「ゆったりとくつろいで本を読む」(28.5%)、「友人同士で会話や交流をする」(23.3%)、「読んでみたい本と出会う」(23.2%)となっており、中学生と同じような傾向となっています。

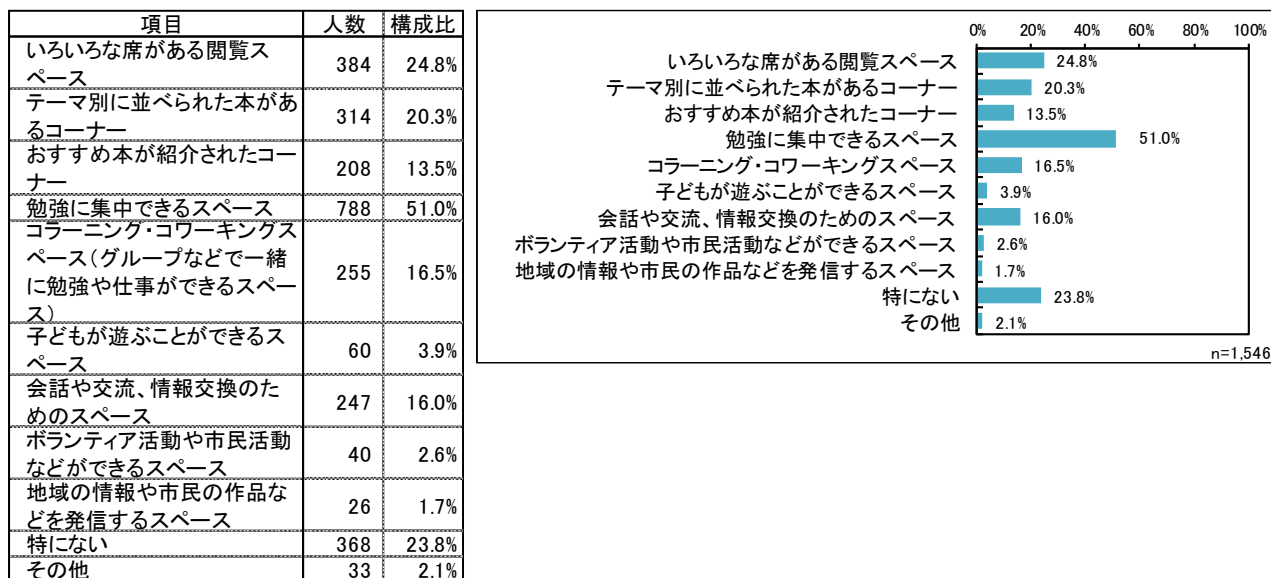
図 14 新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいか(3 つまで選択可)



## 2) 期待するスペース・コーナー

新図書館に期待するスペース・コーナーは「勉強に集中できるスペース」(51.0%)が最も多く、次いで「いろいろな席がある閲覧スペース」(24.8%)、「テーマ別に並べられた本があるコーナー」(20.3%)となっており、中学生と同様に読書や勉強ができたり、本に出会えるスペース・コーナーを期待する生徒が多くなっています。

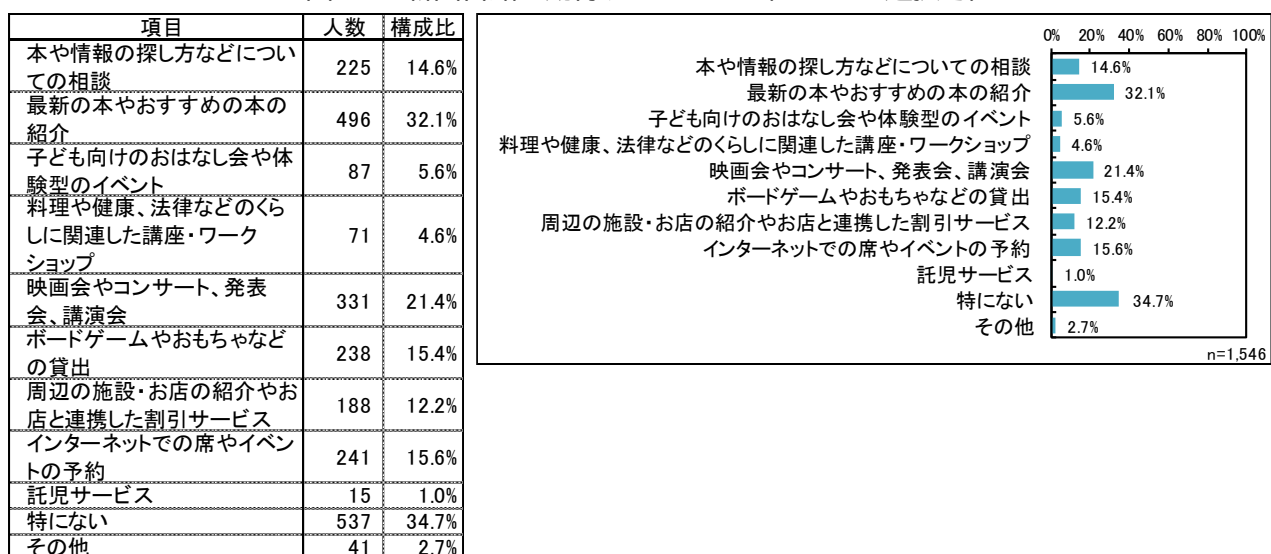
図 15 新図書館に期待するスペース・コーナー(3 つまで選択可)



## 3) 期待するサービス

新図書館に期待するサービスは「特にない」(34.7%)を除くと「最新の本やおすすめの本の紹介」(32.1%)が最も多く、次いで「映画会やコンサート、発表会、講演会」(21.4%)となっており、中学生と同様に本、映画、音楽等に関する様々なサービスや情報を期待しています。

図 16 新図書館に期待するサービス(3 つまで選択可)

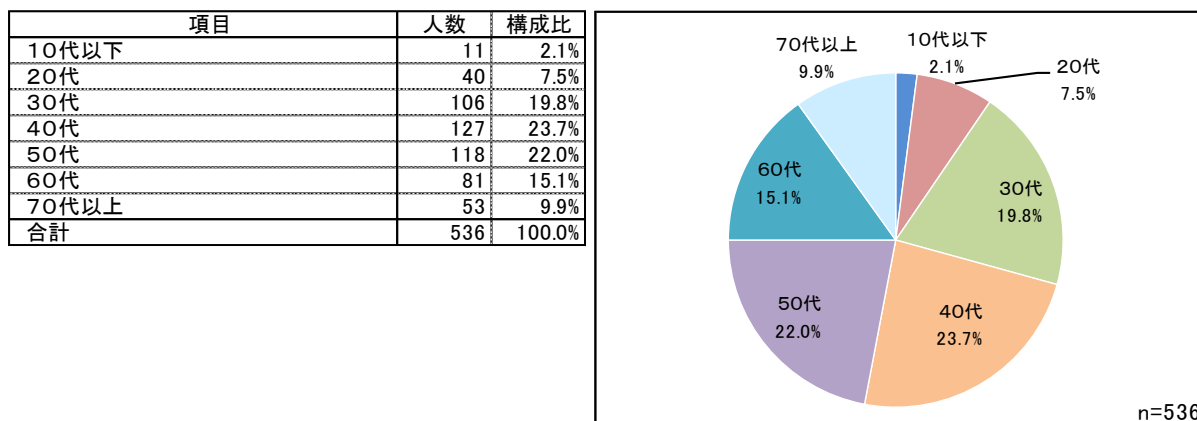


## 4. 一般市民アンケート

### (1) 回答者の属性

回答者の年代別構成比は40代（23.7%）が最も多く、次いで50代（22.0%）、30代（19.8%）となっています。

図 17 回答者の年代別構成比(単数回答)



### (2) 市立図書館の利用状況

過去5年以内の市立図書館の利用有無は「ある」（64.7%）が「ない」（35.3%）を上回っており、利用したことがない市民もアンケートに回答しています。

図 18 過去5年以内の市立図書館の利用有無(単数回答)

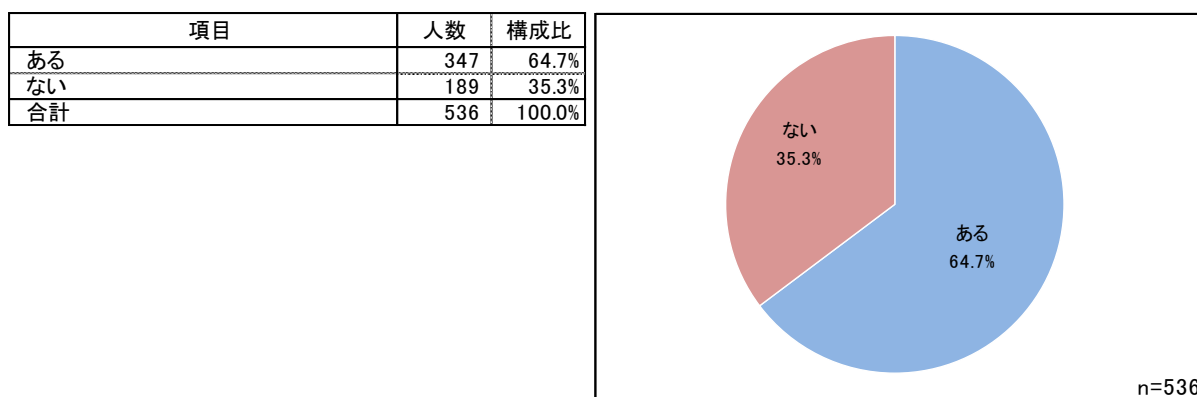
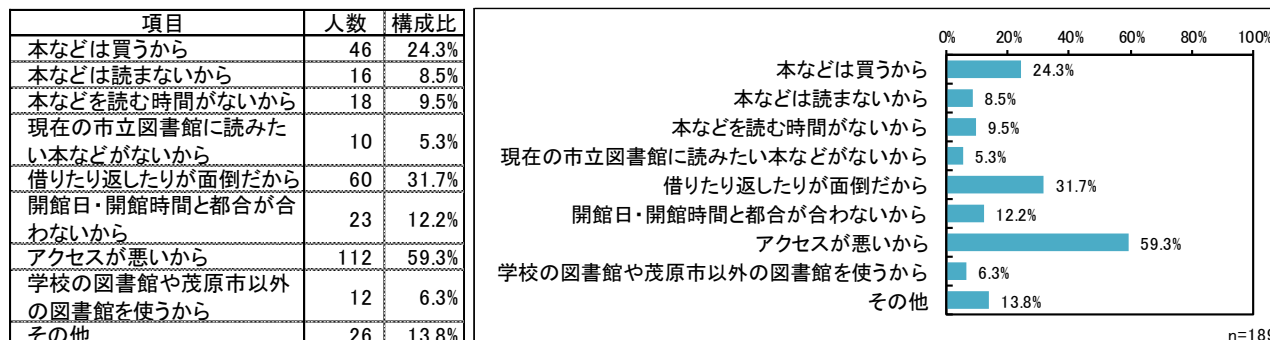


図 18 で「ない」と回答した人が市立図書館を利用しない主な理由は「アクセスが悪いから」（59.3%）が最も多く、次いで「借りたり返したりが面倒だから」（31.7%）、「本などは買うから」（24.3%）となっており、本を読まない訳でなく、市立図書館に来館したり、本の貸出返却に関わる手間が煩わしいと感じていることが分かります。

図 19 市立図書館を利用しない主な理由(複数回答可)

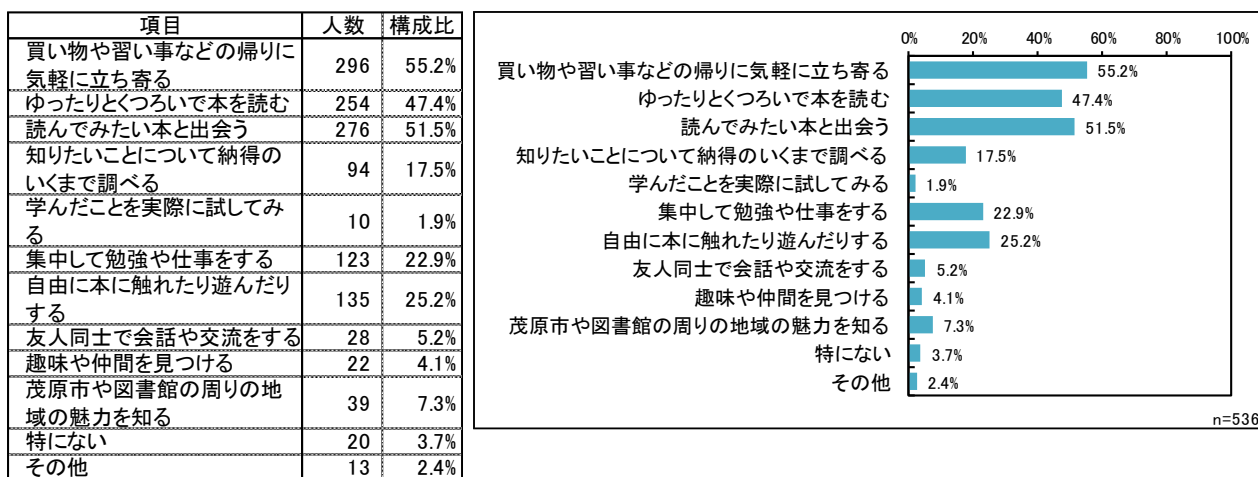


### (3)新図書館への要望

#### 1) 期待する過ごし方

新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいかに関しては、「買い物や習い事などの帰りに気軽に立ち寄る」(55.2%)が最も多く、次いで「読んでみたい本と出会う」(51.5%)、「ゆったりとくつろいで本を読む」(47.4%)となっています。中学生、高校生と異なり、集中して読書や勉強をするよりも、気軽に立ち寄れて、読んでみたい本と出会い、くつろいで本を読めることを期待しています。

図 20 新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいか(3つまで選択可)



過去5年以内の市立図書館の利用有無別では、上位3つは同じですが、市立図書館を利用したことがある人は「読んでみたい本と出会う」(58.2%)が最も多い一方、利用したことがない人は「買い物や習い事などの帰りに気軽に立ち寄る」(60.3%)が最も多くなっています。

図 21 市立図書館の利用有無別の新図書館でどのような過ごし方ができれば利用したいか

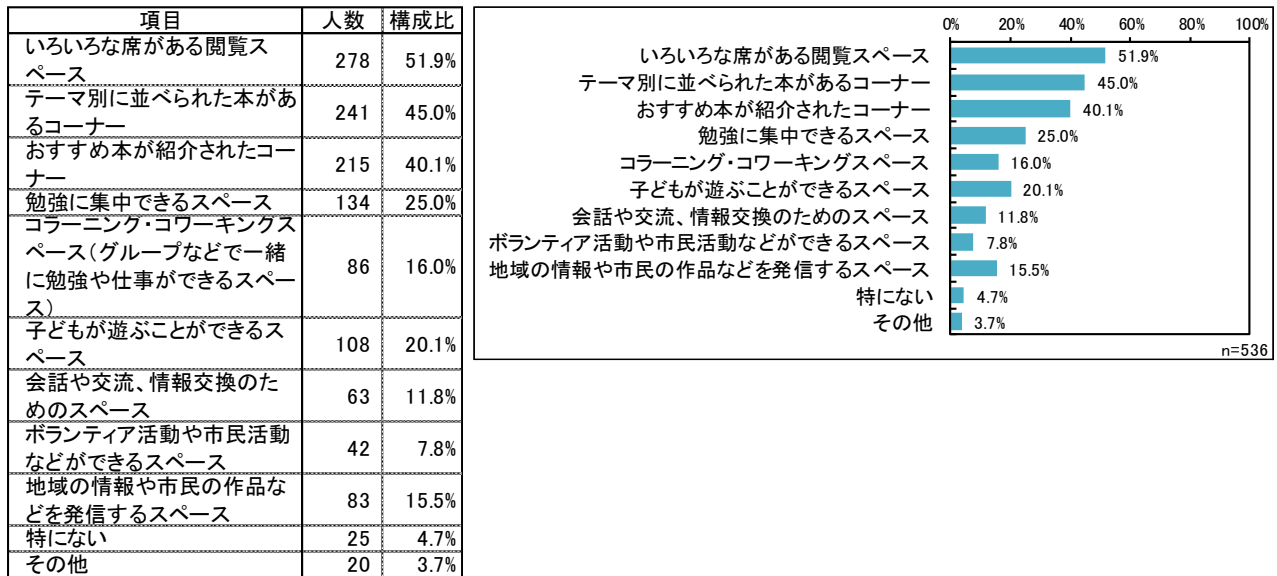
	に買い物や習い事などの帰りに気軽に立ち寄る	ゆったりとくつろいで本を読む	読んでみたい本と出会う	知りたいことについて納得のいくまで調べる	学んだことを実際に試してみる	集中して勉強や仕事をする	自由に本に触れたり遊んだりする	友人同士で会話や交流をする	趣味や仲間を見つける	茂原市や図書館の周りの地域の魅力を知る	特にない	その他
利用したことがある	182 52.4%	161 46.4%	202 58.2%	73 21.0%	8 2.3%	92 26.5%	105 30.3%	15 4.3%	16 4.6%	28 8.1%	6 1.7%	10 2.9%
利用したことがない	114 60.3%	93 49.2%	74 39.2%	21 11.1%	2 1.1%	31 16.4%	30 15.9%	13 6.9%	6 3.2%	11 5.8%	14 7.4%	3 1.6%



## 2) 期待するスペース・コーナー

新図書館に期待するスペース・コーナーは「いろいろな席がある閲覧スペース」(51.9%)が最も多く、次いで「テーマ別に並べられた本があるコーナー」(45.0%)、「おすすめ本が紹介されたコーナー」(40.1%)となっており、ゆっくり本を読めたり、本の情報を得られるスペース・コーナーを期待しています。

図 22 新図書館に期待するスペース・コーナー(3 つまで選択可)



過去5年以内の市立図書館の利用有無別の新図書館に期待するスペース・コーナーは、利用有無による差は見られません。

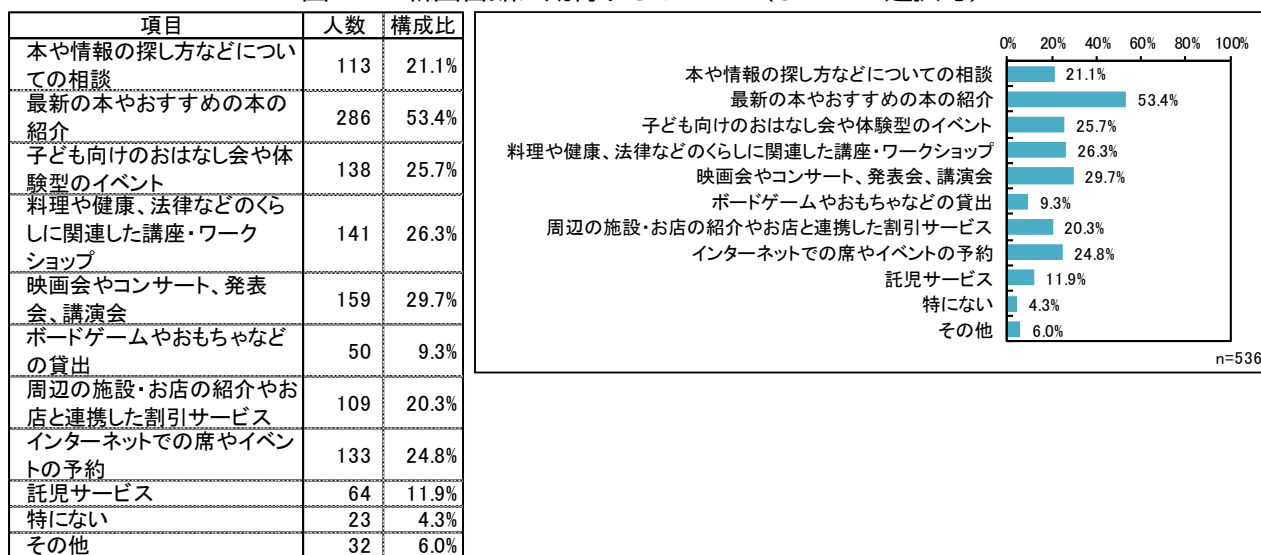
図 23 市立図書館の利用有無別の新図書館に期待するスペース・コーナー

	いろいろな席がある閲覧スペース	テーマ別に並べられた本があるコーナー	おすすめ本が紹介されたコーナー	勉強に集中できるスペース	ペーラーニング・コワーキングスペース	子どもが遊ぶことができるスペース	会話や交流、情報交換のためのスペース	ボランティア活動や市民活動など	地域の情報や市民の作品などを発信するスペース	特にない	その他
利用したことがある	171 49.3%	165 47.6%	155 44.7%	92 26.5%	55 15.9%	73 21.0%	44 12.7%	30 8.6%	56 16.1%	13 3.7%	10 2.9%
利用したことがない	107 56.6%	76 40.2%	60 31.7%	42 22.2%	31 16.4%	35 18.5%	19 10.1%	12 6.3%	27 14.3%	12 6.3%	10 5.3%

### 3) 期待するサービス

新図書館に期待するサービスは「最新の本やおすすめの本の紹介」(53.4%)が最も多く、次いで「映画会やコンサート、発表会、講演会」(29.7%)、「料理や健康、法律などのくらしに関連した講座・ワークショップ」(26.3%)、「子ども向けのおはなし会や体験型のイベント」(25.7%)、「インターネットでの席やイベントの予約」(24.8%)となっています。

図 24 新図書館に期待するサービス(3 つまで選択可)



過去 5 年以内の図書館の利用有無別の新図書館に期待するサービスは、利用有無による差は見られません。

図 25 図書館の利用有無による新図書館に期待するサービス

	本や情報の探し方などについての相談	最新の本やおすすめの本の紹介	子ども向けのおはなし会や体験型のイベント	関連した講座・ワークショップに	料理や健康、法律などのくらしに	映画会やコンサート、発表会、講演会	ボードゲームやおもちゃなどの貸出	連携した割引サービス	周辺の施設・お店の紹介やお店と	インターネットでの席やイベントの予約	託児サービス	特にない	その他
利用したことがある	78 22.5%	198 57.1%	97 28.0%	98 28.2%	101 29.1%	39 11.2%	70 20.2%	86 24.8%	40 11.5%	13 3.7%	16 4.6%		
利用したことがない	35 18.5%	88 46.6%	41 21.7%	43 22.8%	58 30.7%	11 5.8%	39 20.6%	47 24.9%	24 12.7%	10 5.3%	16 8.5%		

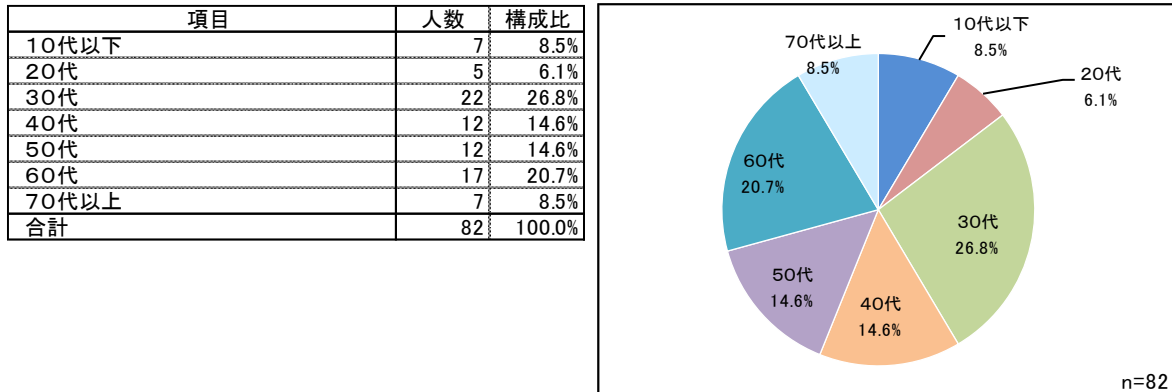


## 5. 図書館の Web アンケート

### (1) 回答者の属性

回答者は合計 82 人で、年代別構成比は 30 代(26.8%)が最も多く、次いで 60 代(20.7%)、40 代 (14.6%)、50 代 (14.6%) となっています。

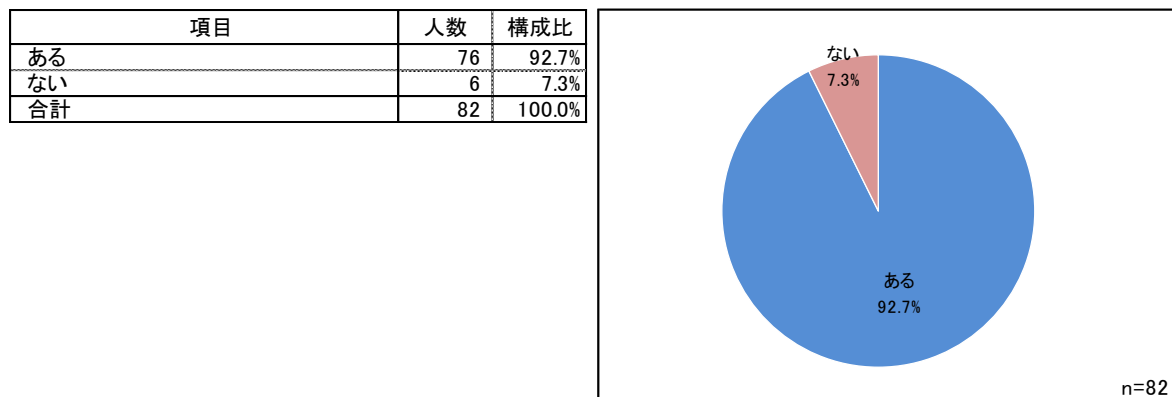
図 26 回答者の年代別構成比(単数回答)



### (2) 市立図書館の利用状況

過去 3 年以内の市立図書館の利用有無は、「ある」が 72 人 (92.7%) と大半ですが、「ない」も 6 人 (7.3%) から回答がありました。

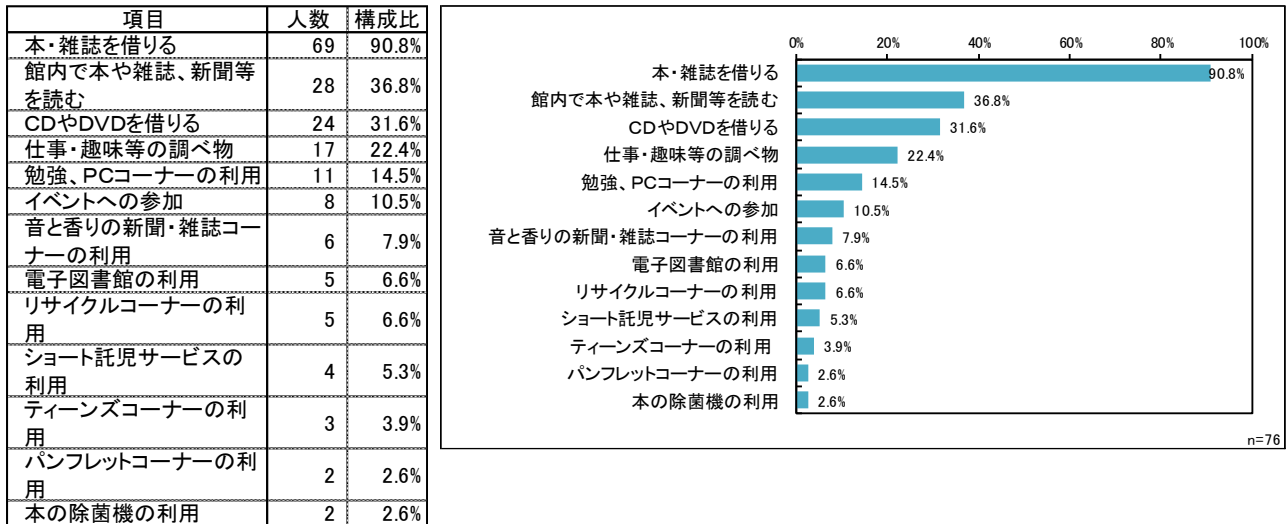
図 27 過去 3 年以内の市立図書館の利用有無(単数回答)



### (3)市立図書館を利用したことがある人の利用目的

(2)で「ある」と回答した人が市立図書館を利用する目的は「本・雑誌を借りる」(90.8%)が最も多く、次いで「館内で本や雑誌、新聞等を読む」(36.8%)、「CDやDVDを借りる」(31.6%)、「仕事、趣味等の調べ物」(22.4%)となっています。

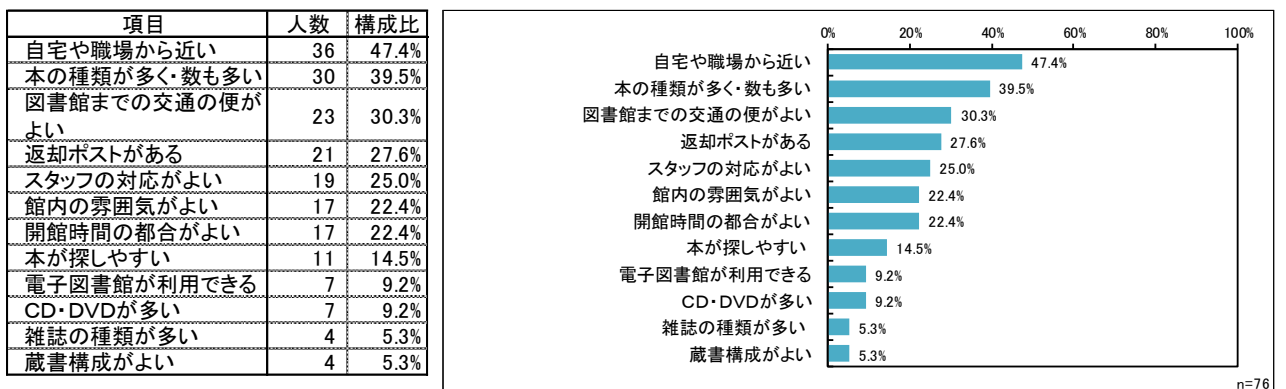
図 28 図書館の利用目的(複数回答)



### (4)市立図書館を利用したことがある人の利用理由

(2)で「ある」と回答した人が市立図書館を利用する理由は「自宅や職場から近い」(47.4%)が最も多く、次いで「本の種類が多く、数も多い」(39.5%)、「図書館までの交通の便がよい」(30.3%)、「返却ポストがある」(27.6%)、「スタッフの対応がよい」(25.0%)となっています。

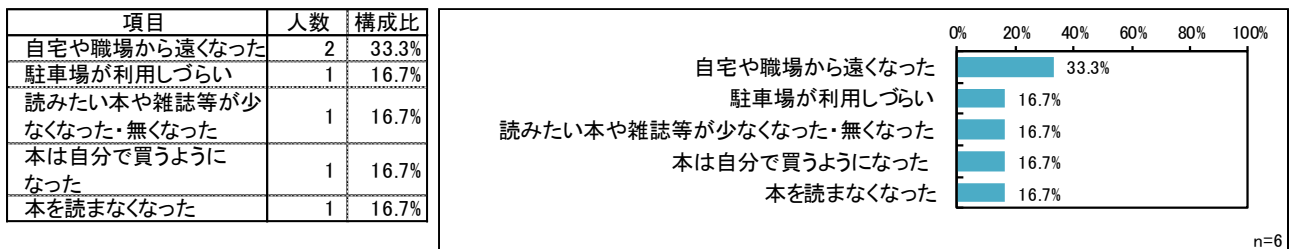
図 29 図書館を利用する理由(複数回答)



### (5)市立図書館を利用しない理由

(2)で「ない」と回答した人が市立図書館を利用しない理由は「自宅や職場から遠くなった」(33.3%)が最も多く、次いで「駐車場が利用しづらい」(16.7%)、「読みたい本や雑誌等が少なくなった・無くなった」(16.7%)、「本は自分で買うようになった」(16.7%)、「本を読まなくなった」(16.7%)となっています。

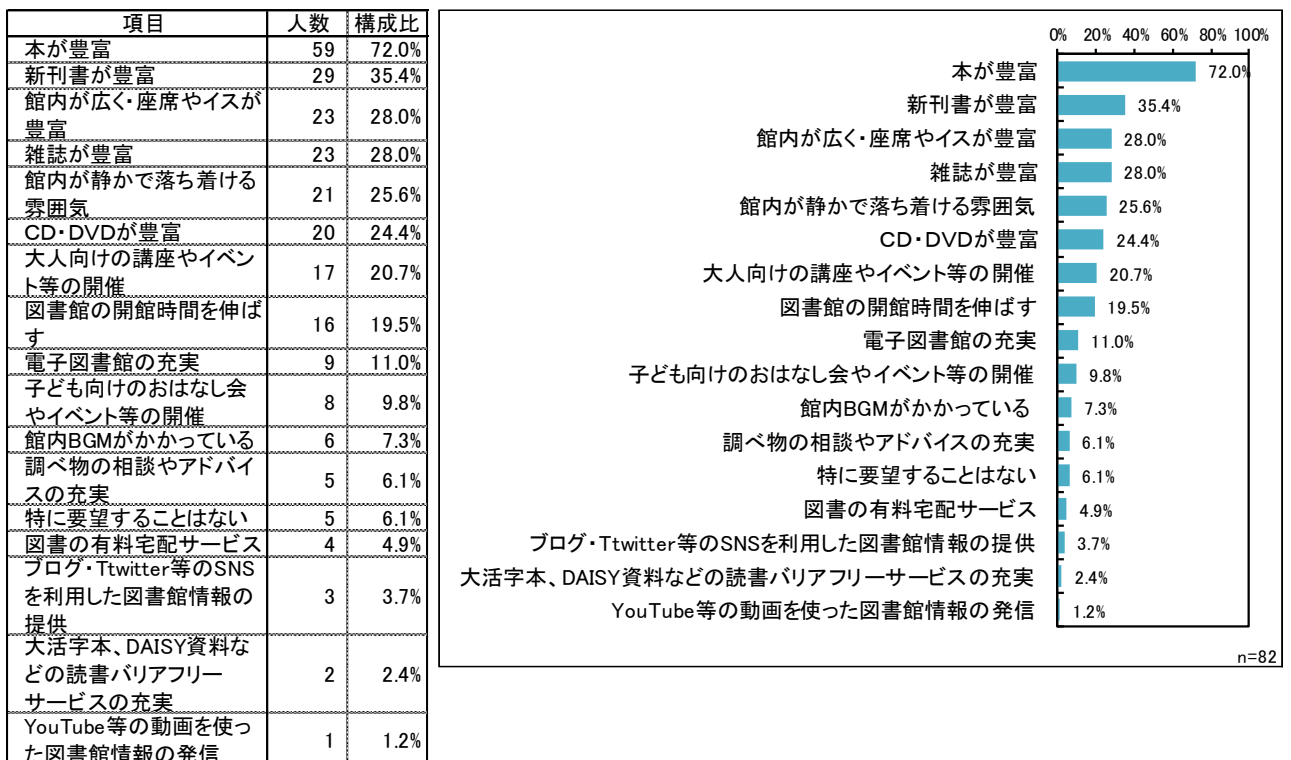
図 30 現在の図書館を利用しない主な理由(複数回答可)



### (6)どのようなことがあれば利用頻度が高まるか

どのようなことがあれば市立図書館を利用する頻度が高まるかに関しては、「本が豊富」(72.0%)が最も多く、次いで「新刊書が豊富」(35.4%)、「館内が広く、座席やイスが豊富」(28.0%)、「雑誌が豊富」(28.0%)、「館内が静かで落ち着ける雰囲気」(25.6%)、「CD・DVDが豊富」(24.4%)となっています。

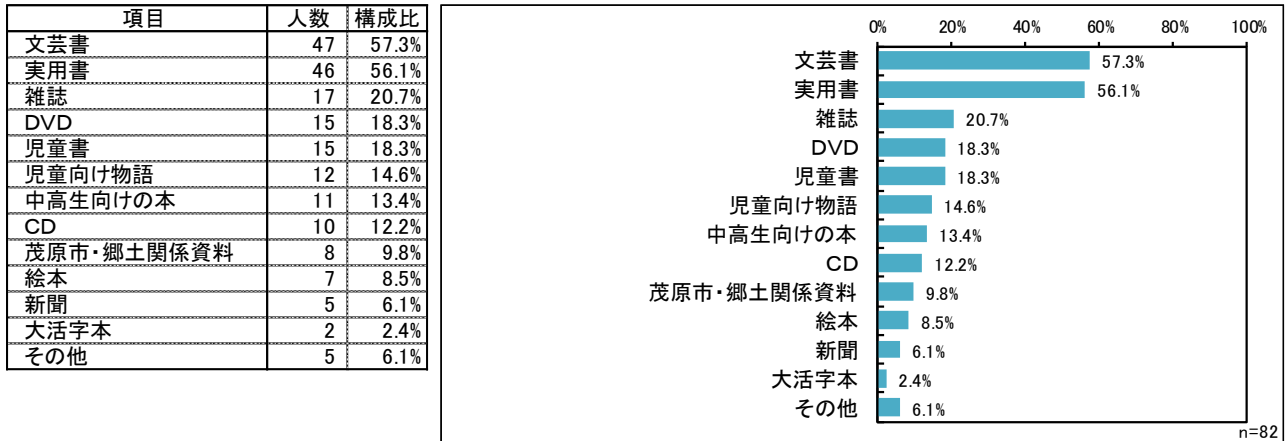
図 31 どのようなことがあれば市立図書館を利用する頻度が高まるか(複数回答可)



### (7) 充実してほしい資料

市立図書館で充実してほしい資料は「文芸書」(57.3%)が最も多く、次いで「実用書」(56.1%)、「雑誌」(20.7%)、「DVD」(18.3%)、「児童書」(18.3%)となっています。

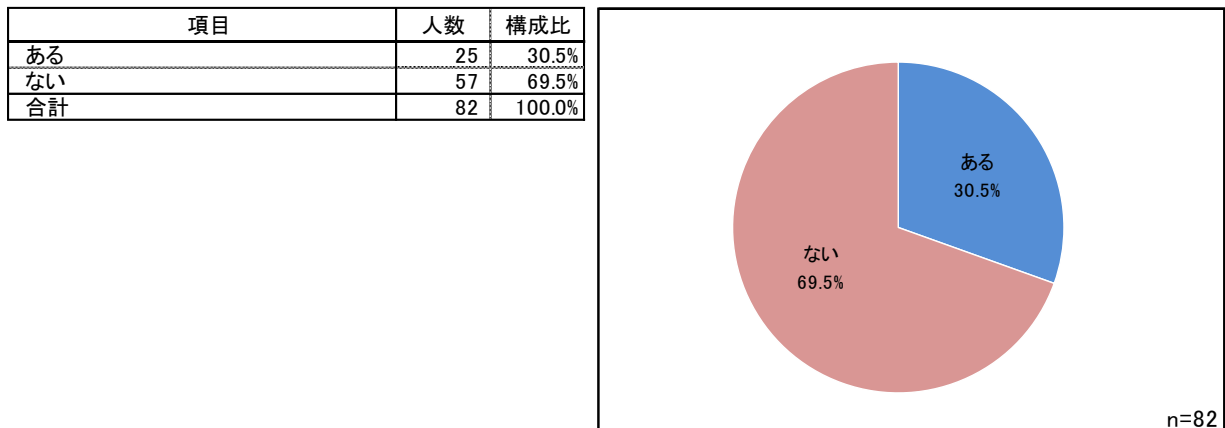
図 32 図書館で充実してほしい資料の種類(複数回答可)



### (8) 電子図書館の利用状況

電子図書館の利用有無は「ない」(69.5%)が「ある」(30.5%)を上回っており、電子図書館は普及途上であることがわかります。

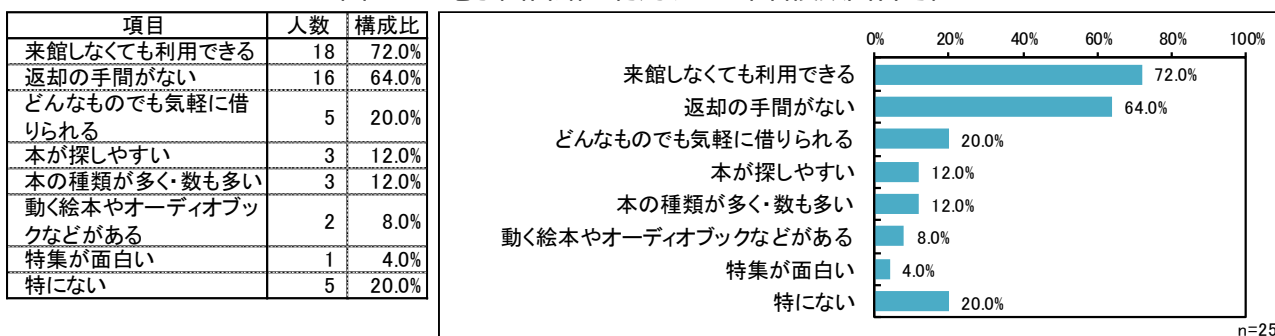
図 33 電子図書館の利用有無(単数回答)



### (9) 電子図書館を利用する理由

(8) で「ある」と回答した人が電子図書館を利用する理由は「来館しなくても利用できる」(72.0%) が最も多く、次いで「返却の手間がない」(64.0%) となっており、市立図書館に来館したり、本の貸出返却に関わる煩わしさが少ないことが理由であることが分かります。

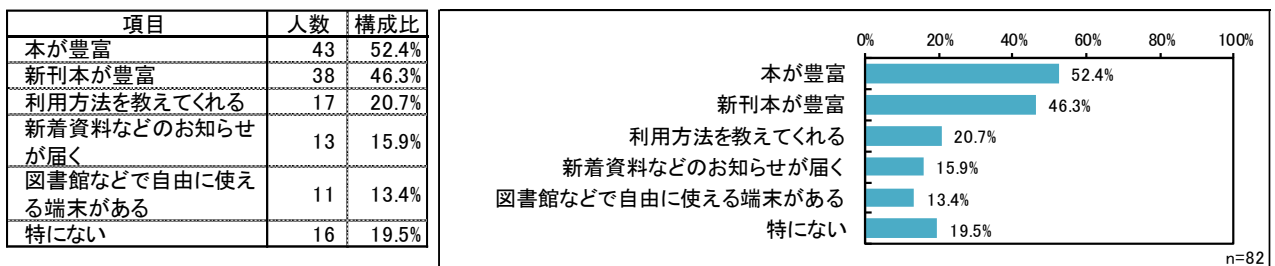
図 34 電子図書館を利用する理由(複数回答可)



### (10) どのようなことがあれば電子図書館を利用するか

どのようなことがあれば電子図書館を利用する頻度が高まるかは、「本が豊富」(52.4%) が最も多く、次いで「新刊書が豊富」(46.3%) となっており、電子図書館のコンテンツを充実させることが利用に結びつくことが分かります。

図 35 どのようなことがあれば電子図書館を利用する頻度が高まるか(複数回答可)



# 第3章 移転先施設の状況

## 1. 「アスモ」の施設概要と来店客数の状況

「アスモ」は茂原商業開発株式会社を運営会社として平成元年にオープンし、店舗面積 12,393 m<sup>2</sup>、駐車場 650 台を擁する、オープン時から現在に至るまで本市で最大且つ中心的な商業施設となっています。茂原商業開発株式会社は「アスモ」のテナント賃貸、管理を主目的として、昭和 60 年に株式会社ケーヨー及び本市内の有力事業主によって設立されています。

「アスモ」は「地元の皆様を元気に応援します」をコンセプトとして、「地元密着」「健康」「文化」「ファミリー」の 4 つを事業の柱にしており、市内で唯一スーパーマーケットとホームセンターを併設した商業施設となっています。また、新型コロナウイルスワクチン集団接種会場や茂原市選挙管理委員会期日前投票所等の会場となる等、地域住民の生活全般に関わる施設でもあります。

「アスモ」の来店客数と平均滞在時間に関して、来店客数は年間 209 万人から 242 万人の間を推移していますが、平成 30 年から令和元年は年間 25 万人減少しており、その後も減少傾向にありましたが、令和 4 年から回復傾向にあります。来店客の平均滞在時間は 30 分弱程度となっています。

表 12 「アスモ」の施設概要

項目	内容
開館年	平成元年
所在地	茂原市高師 1 7 3 5
構造	鉄筋コンクリート造地上 2 階建て
延床面積	22,630 m <sup>2</sup>
店舗面積	12,393 m <sup>2</sup>
駐車場	650 台
営業時間	ショッピング 午前 10～午後 8 時 レストラン 午前 10～午後 9 時



表 13 「アスモ」の来店客数と平均滞在時間の推移

種別	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年		令和4年	
	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数	実績値	指数
来店客数(人)	2,425,263	1.00	2,167,351	0.89	2,104,688	0.87	2,092,166	0.86	2,105,973	0.87
平均滞在時間(分)	28	1.00	24	0.86	25	0.89	28	1.00	29	1.04

※各年1月から12月の実績値



## 2. 店舗構成と移転先の概要

### (1) 店舗構成

令和6年1月時点の「アスモ」の店舗は、スーパーマーケットの「ランドロームフードマーケット」とホームセンターの「ケイヨーデイツー茂原店」を中心に、1階に24店舗、2階に25店舗（催事場、利便施設、ATMを除く）、合計49店舗があります。

グルメ・フードが17店舗、バラエティグッズが4店舗、ファッションが8店舗、サービスが24店舗あり、商品を販売したり飲食を提供する店舗と、サービスを提供する店舗がバランスよく配置されています。

店舗には最新の音響・照明設備を備えた客席113席の「アスモ劇場」、市内最大のスポーツジムである「Aruku」、カルチャー教室を運営する「アスモカルチャールーム」があり、音楽や演劇を鑑賞したり、スポーツで汗を流したり、フラワーアレンジメント等の教室に参加するための活動スペースが充実している特長があります。

表 14 「アスモ」の店舗

種別	テナント名	商品・サービス	番号	階数
グルメ・フード	ランドロームフードマーケット	スーパーマーケット	1	1
	ヤマト寿司	寿司	2	1
	ヤマト魚	魚	3	1
	一文字青果	果物	4	1
	酒のハセガワ	酒	6	1
	鳥新	焼き鳥	9	1
	茶太閣	お茶	10	1
	キッチンうおすけ	総菜・弁当	12	1
	ペールエフィス	パン	13	1
	たこちゅう	たこ焼き	19	1
	はっこうショップ	発酵食品	71	2
	サーティーワンアイスクリーム	アイスクリーム	20	1
	ドムドムバーガー	ハンバーガー	26	1
	ディッパーダン	クレープ	27	1
	15の象	インド料理	64	2
	栄亀庵	蕎麦・うどん	67	2
	桃華飯店	中華料理	68	2
バラエティ	ケイヨーデイツー茂原店	ホームセンター	8	1
	フラワーショップ緑	花	23	1
	キャン・ドウ	100円ショップ	46	2
	エンジェル	雑貨	55	2
ファッション	GAL FIT・suzutan・Re-J	婦人服	54	2
	ハニーズ	婦人服	57	2
	BOLSO	バッグ	58	2
	SHOO LA RUE	婦人・子供服	60	2
	レディースモードセンジュ	婦人服	62	2
	SIENA	婦人服	63	2
	晶光堂	宝石・時計・メガネ	61	2
	DRED LINE	アクセサリー	16	1

種別	テナント名	商品・サービス	番号	階数	
サービス	生活関連	ASMO THE BEAUTY	美容室	5	1
		フレンドリー	美容室	31	1
		アスモクリーニング	クリーニング	22	1
		洋服直しセンター	服飾	14	1
		スタジオアリス LiPi	子供写真	45	2
		保険相談	保険	15	1
		玉川不動産	住宅	66	2
		はせがわ	仏壇・仏具	59	2
		スピーディーワン	ペットトリミング	32	1
		占いコーナー	占い	24	1
		宝くじチャンスセンター	宝くじ	30	1
		わかば	商品買取	44	2
	健康関連	Aruku	スポーツジム	53	2
		カーブス	女性専用フィットネス	42	2
		アスモまるだい鍼灸整骨院	鍼灸・整骨	69	2
	教室	アスモカルチャールーム	教室	70	2
		アスモ文化教室 A	教室	51	2
		アスモ文化教室 B	教室	50	2
	イベント	アスモ劇場	劇場	52	2
		催事場 E	催事	17	1
		催事場 B	催事	41	2
		催事場 A	催事	43	2
		催事場 D	催事	56	2
		催事場 C	催事	65	2
	娯楽	タイトーステーション	ゲーム	47	2
	利便施設	インフォメーション	総合案内	25	1
		ecomomo	古紙回収	29	1
		防犯ボックス	防犯	38	1
		純水注水機	純水	18	1
		救護室	救護	48	2
		ベビールーム	授乳室	49	2
	ATM	ろうきん	ATM	7	1
		千葉興業銀行	ATM	33	1
		京葉銀行	ATM	34	1
		千葉銀行	ATM	35	1
		ゆうちょ銀行	ATM	36	1
		りそな銀行	ATM	37	1
		セブン銀行	ATM	39	1

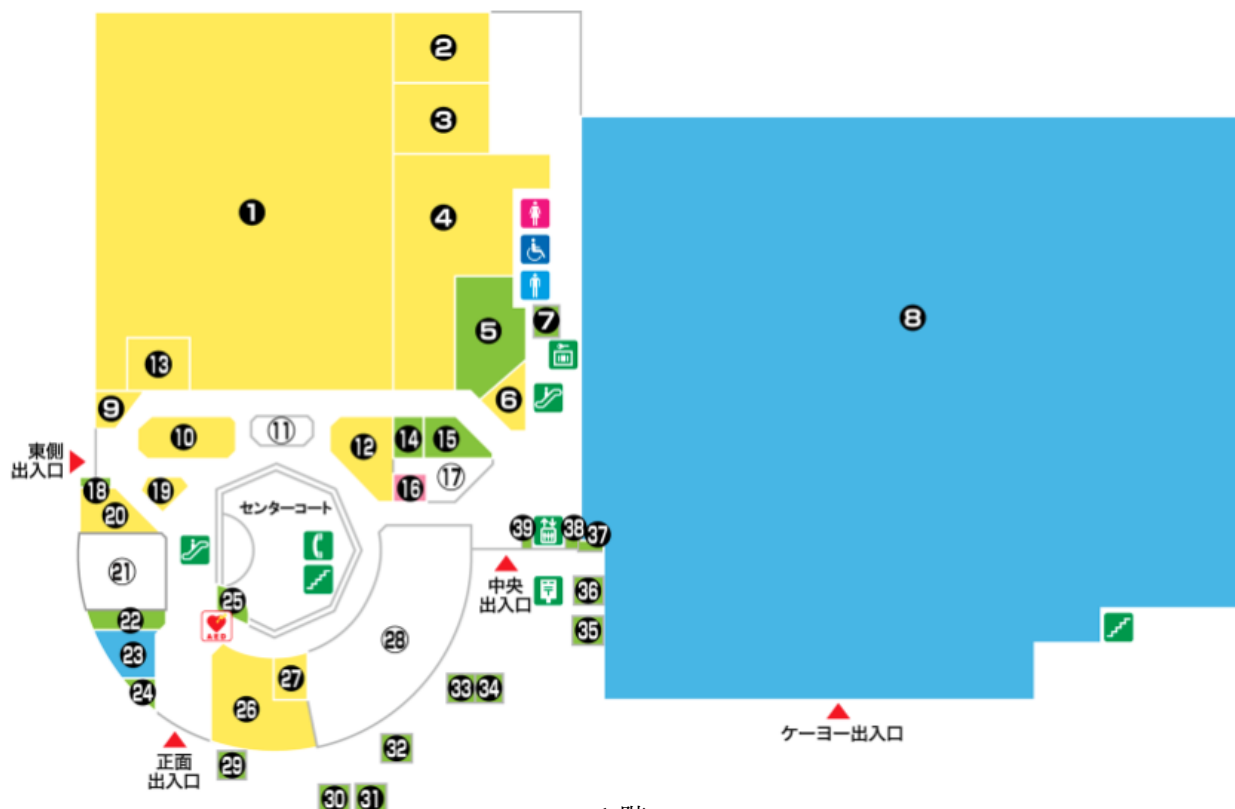
※番号は図 36 に記載の番号に対応

※新店準備中スペースは除く

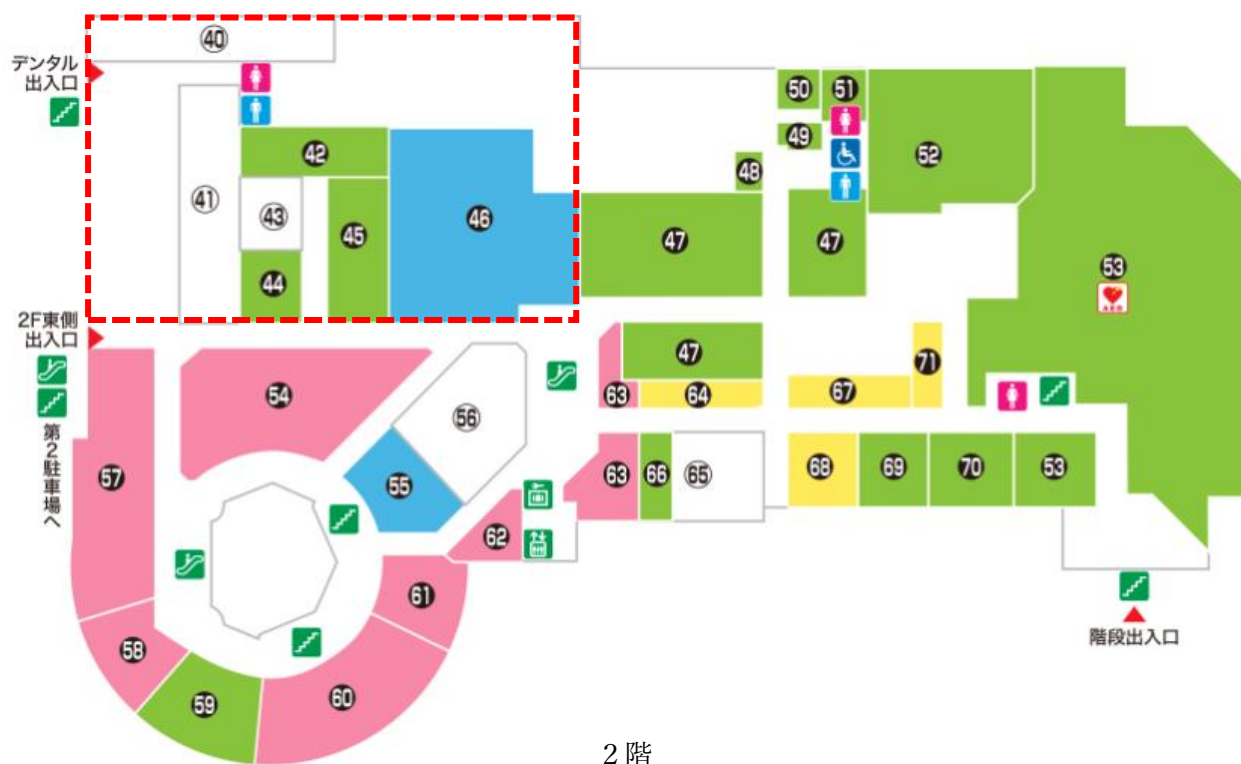


図 36 テナントの配置

■ グルメ・フード   
 ■ サービス   
 ■ パラエティグッス   
 ■ ファッション



1 階



2 階

※赤い枠線が図書館の移転先

## (2) 図書館移転先の概要

図書館の移転先は図 36 の 2 階の赤い点線で囲ったスペースとなり、面積は約 2,000 m<sup>2</sup> となります。同じ階には「ベビールーム」があり、図書館の来館者も利用することができます。また「アスモ文化教室 A・B」は「アスモ」主催のカルチャー教室で利用される以外は、視覚障がい者の対面朗読、図書館の研修会、イベント等に利用することができます。

1 階の「センターコート」はオープンスペースとなっており、公開イベントを開催することができます。2 階の「アスモ劇場」は音楽や演劇等、現図書館では開催が難しかった音響・照明を用いたイベントを開催することができます。

### 3. イベントについて

「アスモ」はほぼ毎月イベントを開催しており、本市商工観光課の協力のもとで開催する2月の「もばら冬の七夕まつり」、本市観光協会が主催する4月の「桜まつり」、本市が後援、協賛している8月の「もばら元気まつり」等、公共性の高い、地域密着型のイベントを開催している特長があります。

また、現図書館で開催している「父母の日似顔絵展」と類似する「母の日似顔絵コンクール」「父の日似顔絵コンクール」を開催しています。

表 15 イベントスケジュール(令和5年実績)

月	イベント名	月	イベント名
1月	☆ アスモ新春大抽選会	7月	書道パフォーマンス
	勝見流々民謡ミニライブ		きれいなお魚と遊べる水族館
	書とヴァイオリンの響演	8月	ラッキー抽選会
	こども縁日		☆ もばら元気まつり
	映画「ファミリア」トークイベント		・こども縁日
2月	☆ もばら冬の七夕まつり	・ミニ花火大会	
	もば恋マルシェ	・スイカ割り	
	ラッキー抽選会	9月	秋の交通安全フェスタ
3月	☆ 春のアスモまつり		似顔絵イベント
	・ガラポン抽選会	10月	おばけ屋敷
	・リバージュミニライブ		水森かおり新曲キャンペーン
	・style-3! ミニライブ		書道パフォーマンス
4月	☆ 桜まつり		ラッキー抽選会
	・春のハンドメイドマーケット	☆ 秋のアスモまつり	
	・人力車乗車会	・ガラポン抽選会	
	・キッチンカー販売	・2AWプロレスイベント	
	ラッキー抽選会	・ちば外房映画祭2023	
5月	☆ GWイベント	11月	ミニッツミニライブ
	・蒼一心新曲キャンペーン		我が家のアイドル写真展
	・森林組合ミニライブ	12月	ハンドメイド展
	・すずき円香ミニライブ		似顔絵イベント
	・Sourcesミニライブ		ラッキー抽選会
	・ハッピーつついパフォーマンスショー		☆ 誕生祭
	・ピリー諸川ロカピリーライブ		・のりじんjazzライブ
・ROLLYミニライブ	・U字工事爆笑漫才		
世界の大昆虫展inもばら	・Na o & j p ミニライブ		
☆ 母の日似顔絵コンクール	チャリティーミュージックソン		
6月	☆ 父の日似顔絵コンクール	6月	ラッキー抽選会
	ラッキー抽選会		ふわふわ迷路「宝箱を探せ」
	ふわふわ迷路「宝箱を探せ」		似顔絵イベント
	似顔絵イベント		

※☆は比較的大規模なイベント

## 第4章 必要諸室の検討

### 1. 新図書館の開架・閉架の収蔵可能冊数

新図書館は開架スペースに余裕を持たせ、閲覧席の変更等、館内の居心地をよくするため、開架書架の冊数を減らして一般約 55,000 冊、児童約 21,700 冊、その他約 11,000 冊、合計約 87,700 冊とする一方、閉架書架の収蔵能力を拡充し、約 55,000 冊を収蔵できるようにします。

現図書館で大半を開架に配架している郷土資料を新図書館では閉架に移し、貸出冊数が多い一般書、絵本、児童書をできるだけ開架に配架して来館者と本の接点を増やすとともに、古い本は適宜閉架に移動して新しい本を開架に出す資料更新を行い、来館者に本の魅力を訴求できるようにします。

表 16 新図書館の開架・閉架の収蔵可能冊数

書架種別		冊/段	収蔵可能冊数				蔵書数									
			新図書館	現状	増減	備考	冊数	新図書館収蔵可能冊数-蔵書数	備考							
開架	一般 (ティーンズ・他含む)	一般	40	38,000	54,010	990	-	66,043	-11,043	-						
		ライフ&カルチャー	20	5,000												
		文庫・新書	55	12,000												
		小計		55,000							54,010	990	-	66,043	-11,043	-
	児童	児童	50	14,000	23,800	-2,700	-	15,759	-1,759	-						
		ティーンズ	40	1,600												
		絵本	50	5,500												
		紙芝居	70	600							840	-240	-	814	-214	※令和5年 12月実績値
		小計		21,700							24,640	-2,940	-	24,483	-2,783	-
	地域・参考	35	5,000	22,990	-17,990	-	22,990	-17,990	-							
	雑誌	-	2,000		2,000	95誌程度(うち児童6~7誌程度)	1,919	81	-							
	新聞		8紙	12紙	-	-	-	-	-							
	視聴覚	35	4,000	4,000	0	-	3,845	155	-							
開架計		87,700	105,640	-17,940	-	119,280	-31,580	-								
閉架	一般書・児童書・地域資料・参考図書・雑誌・視聴覚資料	40	53,700	22,880	30,820	-	23,274	30,426	-							
	大型本	25	1,200	0	1,200	-	0	1,200	-							
	大型絵本	20	40	0	40	-	40	0	-							
	閉架計		54,940	22,880	32,060	-	23,314	31,626	-							
合計		143,000	128,520	14,480	-	142,594	406	-								

※蔵書数のうち、閉架の冊数は公民館や福祉センターの入れ替え本の冊数を含み、P.4表2の図書館蔵書数と異なる

## 2. 新図書館の諸室面積

中学生・高校生から要望が多かった「学習スペース」を設けるとともに、一般も含めて要望が多かった最新の本やおすすめの本を紹介するためのスペースとして、料理・DIY・ファッション・美容等の日々の暮らしに関連する本や、ライトノベル等の中学生・高校生向けの本を配架する「ライフ&カルチャーコーナー」を新たに設けます。

また、来館者が気軽に立ち寄って会話や交流ができる「フリースペース」や、現図書館の「おはなし室」を拡充し、親子が靴を脱いで上がれ、子どもがおもちゃで遊べる「こどもひろば」を設けます。「こどもひろば」では、現図書館で実施しているショート託児も展開します。

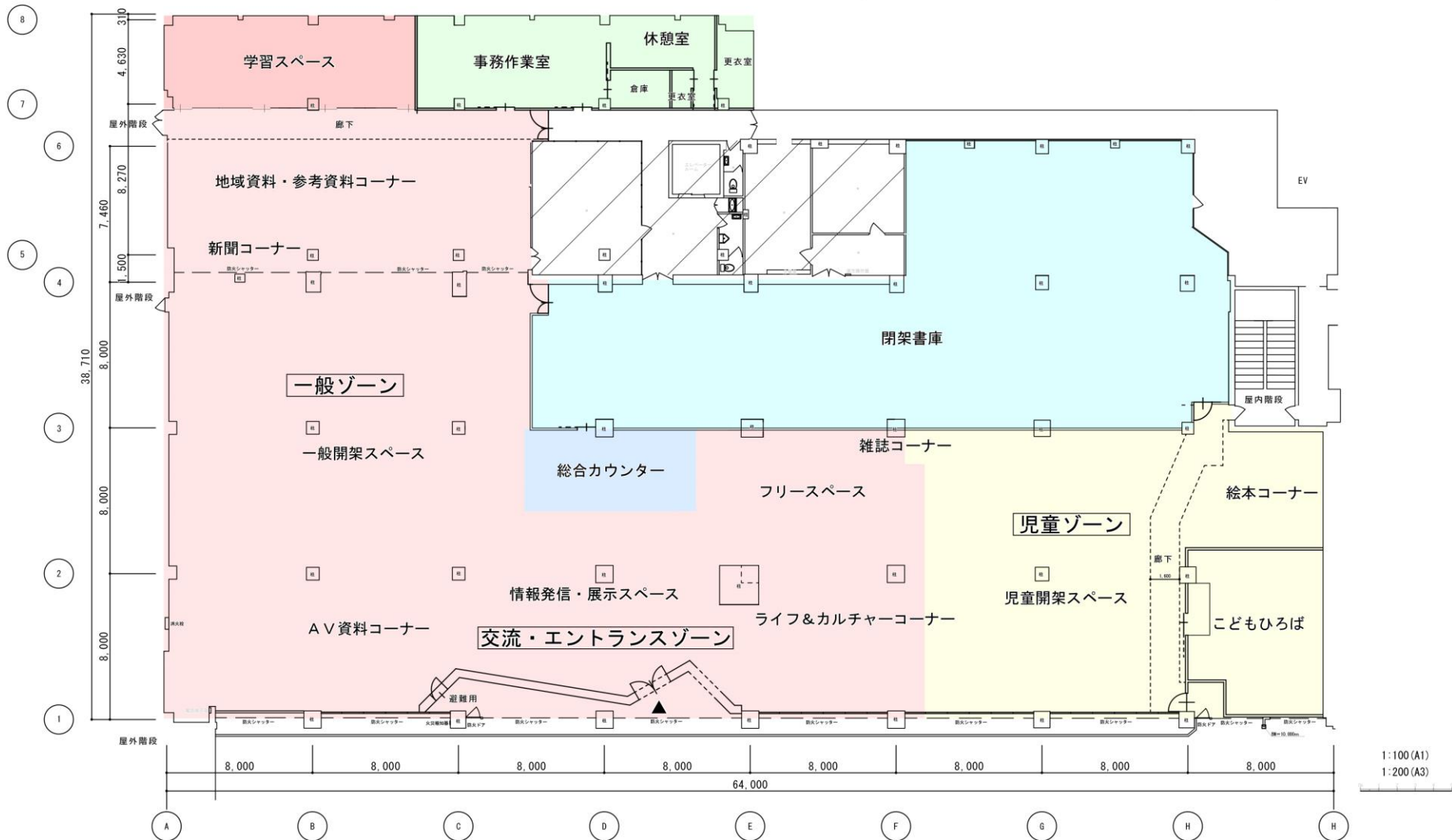
一方、乳幼児の授乳は「ベビールーム」、視覚障がい者の対面朗読、職員研修等は「アスモ文化教室 A・B」、イベントは「アスモ劇場」や「センターコート」を活用し、図書館にはこれらのスペースは設けません。

表 17 新図書館の諸室面積

区分	部門	ゾーン	室名	備考	面積(m <sup>2</sup> )			
					室	ゾーン	部門	区分
利用者	導入	交流・エントランス	フリースペース	3.5m <sup>2</sup> ×10席 イベント・グループ学習スペース兼	35	45	45	1,435
			情報発信・展示スペース	地域や近隣施設の情報発信	10			
	開架	一般	総合カウンター		40	960	1,330	
			一般開架スペース	50,000冊程度、80冊/m <sup>2</sup>	630			
			ライフ&カルチャーコーナー	5,000冊程度、40冊/m <sup>2</sup> 料理、DIY、ファッション、美容等、「アスモ」の店舗と連携した暮らしに関する本の展示	130			
			地域資料・参考資料コーナー	5,000冊程度、80冊/m <sup>2</sup>	70			
			雑誌コーナー	85誌程度+バックナンバー	50			
			新聞コーナー	8紙	20			
			AV資料コーナー	4,000点程度、200点/m <sup>2</sup>	20			
	児童	児童	児童開架スペース	児童書14,000冊程度、ティーンズ1,600冊程度、70冊/m <sup>2</sup> 、雑誌10誌程度含む	200	370		
			絵本コーナー	絵本・紙芝居6,000冊程度、65冊/m <sup>2</sup>	100			
			こどもひろば	靴を脱いで上がれ、乳幼児、未就学児の利用を想定 おはなし会等のイベントも開催 「ショート託児」にも使用	70			
	集会 学習	学習スペース	2.5m <sup>2</sup> ×24席	60	60	60		
管理	事務 管理	事務作業室	8席想定	80	100	100		
		休憩室・更衣室等		20				
	保存	閉架書庫	55,000冊程度、120冊/m <sup>2</sup>	460	460	460		
合計					≒ 2,000			

### 3. 新図書館のゾーニング図

ゾーン・室名	座席数
学習スペース	24
一般ゾーン 交流・エントランスゾーン	106
児童ゾーン	36
合計	166



## 第5章 新図書館整備への期待

---

### (1) 来館者の増加と読書人口の拡大

「アスモ」は国道 128 号沿線の中心的な商業施設であり、本市だけでなく周辺自治体の市民も利用しており、来店客数は年間約 240 万人となっています。現図書館の年間来館者数の 10 倍以上の数であり、これらの来店客が買い物のついでに図書館に来館する等、図書館の来館者数の増加が期待されます。

図書館に来館し易い環境をつくることにより、これまで図書館に来館したことがなかった市民も気軽に来館して本に接することができ、読書人口の増加につながることが期待されます。

### (2) 中学生・高校生の利便性の向上

市内中学生・高校生が自転車やバス等を利用して図書館に来館することができます。

図書館が「アスモ」の中にあることで、生徒は図書館で自習や読書をする合間に飲食や買い物をしたり、「アスモ」のイベントに参加するついでに図書館を利用する等、図書館を利用する機会が増えることが期待されます。

### (3) 「アスモ」の店舗との連携

「アスモ」にはプロ仕様の最新の音響・照明設備を備えた客席 113 席の「アスモ劇場」や、オープンスペースの「センターコート」があり、現図書館では難しかった音楽や演劇等のイベントの開催が可能となり、より多くの市民に図書館事業を発信することが可能となります。

さらに「アスモ」にはホームセンターの「ケイヨーデイツー茂原店」、100 円ショップの「キャン・ドウ」等があり、店舗との連携により、これまで図書館に縁のなかった市民の来館を促すことが期待されます。

### (4) 長時間滞在できる環境の創出

「アスモ」の駐車場は時間制限なく無料で利用できるため、来館者は時間を気にせず図書館を利用することができるとともに、来館者は読書の合間に飲食ができ、長時間の滞在が可能となります。

さらに「アスモ劇場」「Aruku」「アスモカルチャールーム」等の利用者が隙間時間に図書館に来館したり、イベントに訪れた市民が図書館に来館する等、「アスモ」で 1 日中滞在できる環境をつくることが可能となります。



## 第6章 新図書館のサービス方針と重点サービス

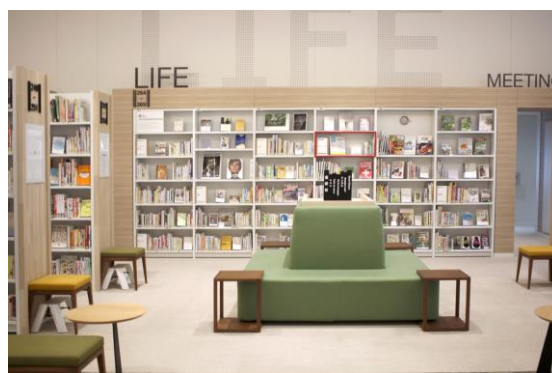
### サービス方針1 「本のある暮らし」の提案

日常生活に必要な商品やサービスを購入するために訪れる市民が、気軽に立ち寄って本に触れ、本を通して生活の豊かさを実感したり、自分らしい生き方を発見し、読書が生活の一部となるような「本のある暮らし」を提案します。

日常生活の様々な疑問を本や電子書籍によって理解したり、解決したりできるよう、市民それぞれの本との出会いを創出します。

#### （重点サービス1）本の魅力的な展示

市民が本に興味を持つことができるよう「ライフ&カルチャーコーナー」を設け、日常生活に関連する料理、DIY、ファッション、美容等のテーマ別に本を配架したり、視覚的にインパクトのある写真集・画集を面陳列する等、装丁も含めたモノとしての本の魅力を市民に分かり易く提示します。



札幌市図書・情報館のテーマ別展示  
(出典：札幌市図書・情報館 HP)

#### （重点サービス2）子どもが本に興味を持つきっかけづくり

子どもたちが本に興味を持ち、本に親しむことで想像力を育めるよう、本の世界観を展示で表現したり、「おはなし会」に加えて演劇等のイベントで、子どもたちに本の内容を分かり易く提示します。

#### （重点サービス3）ティーンズに向けた情報発信

中学生・高校生が気軽に本に親しめるようライトノベル等を充実させるとともに、「アスモ」と連携して中学生・高校生が支持するクリエイター等の話を聞ける機会をつくり、中学生・高校生の悩み解決や進路のヒントとなるような情報発信をします。

#### （重点サービス4）電子書籍の拡充

紙媒体で利用の多い文芸書や実用書の電子書籍コンテンツを充実させるとともに、紙媒体の本を読む習慣がない市民も、スマートフォンを見る感覚で本が読めるよう SNS 等を通じて電子書籍の魅力を発信します。

## サービス方針2 学びの機会創出

進学、就職、子育て、老後等、ライフステージの各段階で市民が必要な学びをできる機会をつくります。市民が生涯に渡って向上心を持って学ぶことができるよう、「アスモ」と連携して学びの楽しさや利点を提案します。

特に本市の未来を担う若年層や、今後増加が見込まれる高齢者層が自分らしい生き方を発見し、目標を持って学べる機会をつくります。

### (重点サービス1) 中学生・高校生の学習支援

中学生・高校生から要望が多かった「学習スペース」を設け、落ち着いて勉強できるよう、専用の時間帯を設けるとともに、勉強の合間にリラックスできるような写真集や画集を展示します。



神奈川県立図書館の研究ブース（出典：丸善雄松堂 HP）

### (重点サービス2) 大人の学びの支援

大人が仕事や日常生活に必要な知識を得られるような本を充実させるとともに、パソコンを使える席を用意し、大人のスキルアップを支援します。さらに人脈を広げられるような、趣味や学びの講座や交流会等のイベントを開催します。

### (重点サービス3) 趣味や健康の支援

「アスモカルチャールーム」と連携し、フラワーアレンジメントや絵画等の趣味の講座に関する本を展示したり、高齢者向けの軽運動や健康に関する講座等のイベントを開催します。

## サービス方針3 親子が1日中過ごせる環境の提供

親子が本を読んだり、食事をしたり、買い物をしたり、イベントに参加する等、「アスモ」内で1日中過ごせる環境を創出します。

### (重点サービス1) 子どもの知育支援

子どもたちが頭を使って考えることの楽しさを身につけられるよう、知育玩具やボードゲーム等による遊びができるようにします。さらに、これらのイベントを開催し、子どもたちが学校以外でも友だちをつくる機会を創出します。

## (重点サービス2) 子どもの一時預かり

親が子どもを一時的に預けて、本を読んだり、イベント等に参加できるように、ショート託児の頻度や時間を増やすとともに、子どもたちが託児の時間を楽しく過ごせるよう「おはなし会」等のイベントを充実します。



大和市文化創造拠点の保育室  
(出典：大和市文化創造拠点 HP)

## (重点サービス3) 「アスモ」のイベントとの連携

「もばら冬の七夕まつり」「桜まつり」「もばら元気まつり」等、「アスモ」で開催されるイベントに合わせ、図書館主催のビブリオバトル、市民の作品展示、発表等を開催します。

## サービス方針4 ライフスタイルの提案

ファッション、日用品、飲食等、「アスモ」の店舗と連携し、豊かで充実したライフスタイルを市民に提案します。市民が本によって最新の流行やトレンドを把握し、商品やサービスによってそれを日常生活で実現できるよう、ライフスタイルの発信地となるようにします。

## (重点サービス1) 商品に関連した本や雑誌の展示

「アスモ」の店舗と連携し、店舗で扱っている商品やサービスに関連する本や雑誌を「ライフ&カルチャーコーナー」で展示し、本や雑誌からしか入手できない付加価値のある情報を市民に分かり易く提示します。



札幌市図書・情報館の本の展示  
(出典：札幌市図書・情報館 HP)

## (重点サービス2) 店舗と連携したイベントの開催

「アスモ」の店舗で扱っている商品やサービスに関連する講演会や、それらの参加者の交流会等のイベントを開催し、同好の市民のつながりを創出する機会を提供します。